

# 2020年（令和2年） 投資信託に関するアンケート調査 調査結果サマリー

## Point

- 投資信託現在保有者のうち、「つみたてNISA」の保有率は前回比で7.0ポイント増加、また若年層ほど保有率が高い。(P7)
- 投資信託現在保有者のうち、積立投資の利用率は53.0%、前回比で10.6ポイント増加。全世代で増加。(P19)
- 投資信託の興味・関心・購入のきっかけは、「SNSからの情報を通じて」が20代・30代で高い傾向。(P30)
- ESG・SDGs関連投資意向は、全世代で「医療・福祉の充実」への関心が最も高い。若年層ほど「貧困・飢餓問題」「教育格差の是正」「ジェンダーフリー・女性活躍の推進」が、高齢層ほど「環境問題の改善」「再生エネルギーの普及」に関心が高い傾向。(P33)



こちらのサマリーと報告書の全文は  
投資信託協会ホームページにて公開しております。

<https://www.toushin.or.jp/statistics/report/research2020/>



投信協会

■ 調査計画の概要	-----	2
1. 本調査の回答者プロフィール	-----	3
2. 投資信託の保有状況	-----	5
3. 投資信託の購入・保有に関する意識	-----	10
4. 投資信託の積立投資の認知・利用状況	-----	18
5. 毎月分配型投資信託についての意識	-----	21
6. 投資信託の非購入理由	-----	28
7. 投資信託購入検討のきっかけ	-----	29
8. 投資信託の興味・関心・購入のきっかけ	-----	30
9. 投資信託購入時参考情報	-----	31
10. 投資意識に関する状況	-----	32

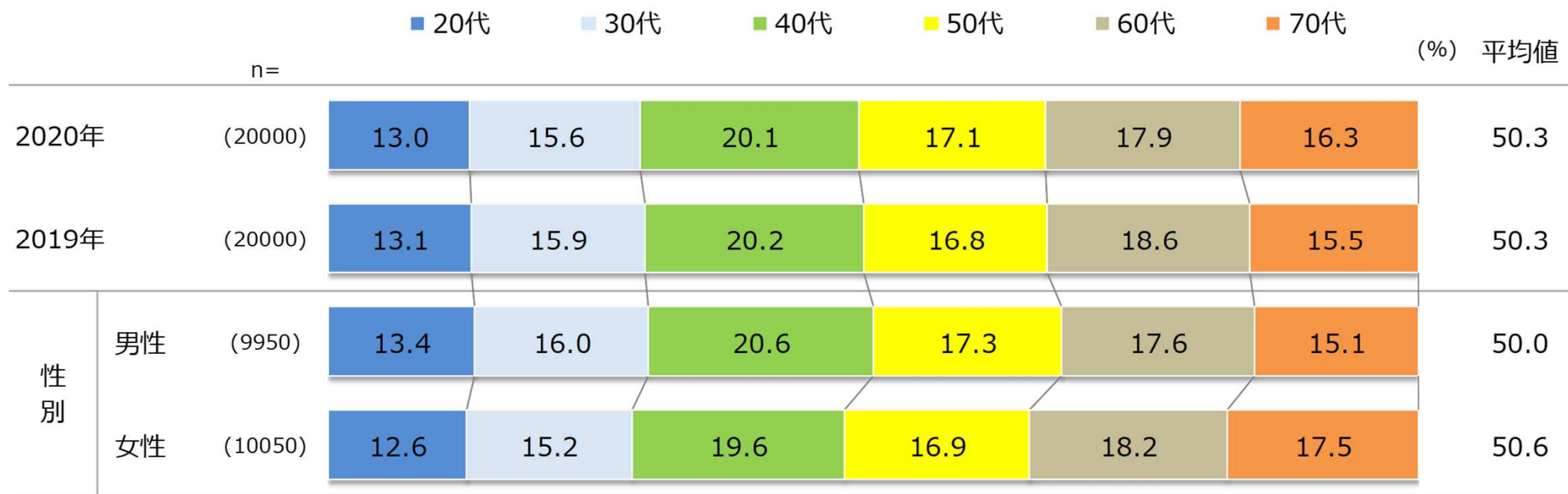
調査の目的	全国の20歳～79歳の男女個人を対象に、投資信託の保有状況や特徴認知、満足度、積立投資の認知などを把握すると同時に、投資信託保有未経験層に対しては、非購入理由や購入検討のきっかけを確認することで、「貯蓄から資産形成へ」の流れを促進するための課題を探り、今後の投資信託の利用拡大及び啓発普及活動に役立つ資料とすること。																																																																																													
調査手法	インターネット調査（抽出フレーム：NRCネットワークパネル） ※ インターネット調査のモニターは、一般的に情報感度が高い事が確認されており、金融商品（投資信託）においては保有率や制度認知が郵送調査モニターなどに比べて高めに出る傾向にあります。																																																																																													
調査地域	全国（首都圏、阪神圏、その他地域の3ブロック）																																																																																													
調査対象	20～79歳の男女																																																																																													
サンプル数	総計20,000サンプル * 性・年代・エリアで割付実施（割付は平成31年1月1日現在の住民基本台帳に基づく）。 * 職業条件による除外は実施していない。 <性・年代・エリアごとの回収数詳細> <table border="1" data-bbox="533 863 2042 1249"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>20-29歳</th> <th>30-39歳</th> <th>40-49歳</th> <th>50-59歳</th> <th>60-69歳</th> <th>70-79歳</th> <th>20-79歳計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">男性</td> <td>首都圏</td> <td>417</td> <td>505</td> <td>646</td> <td>529</td> <td>451</td> <td>407</td> <td>2,955</td> </tr> <tr> <td>阪神圏</td> <td>192</td> <td>217</td> <td>294</td> <td>243</td> <td>233</td> <td>223</td> <td>1,402</td> </tr> <tr> <td>その他地域</td> <td>721</td> <td>872</td> <td>1,105</td> <td>954</td> <td>1,071</td> <td>870</td> <td>5,593</td> </tr> <tr> <td colspan="2">男性計</td> <td>1,330</td> <td>1,594</td> <td>2,045</td> <td>1,726</td> <td>1,755</td> <td>1,500</td> <td>9,950</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">女性</td> <td>首都圏</td> <td>401</td> <td>474</td> <td>604</td> <td>487</td> <td>455</td> <td>472</td> <td>2,893</td> </tr> <tr> <td>阪神圏</td> <td>192</td> <td>220</td> <td>299</td> <td>250</td> <td>252</td> <td>267</td> <td>1,480</td> </tr> <tr> <td>その他地域</td> <td>674</td> <td>831</td> <td>1,066</td> <td>963</td> <td>1,119</td> <td>1,024</td> <td>5,677</td> </tr> <tr> <td colspan="2">女性計</td> <td>1,267</td> <td>1,525</td> <td>1,969</td> <td>1,700</td> <td>1,826</td> <td>1,763</td> <td>10,050</td> </tr> <tr> <td colspan="2">TOTAL</td> <td>2,597</td> <td>3,119</td> <td>4,014</td> <td>3,426</td> <td>3,581</td> <td>3,263</td> <td>20,000</td> </tr> </tbody> </table>										20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	20-79歳計	男性	首都圏	417	505	646	529	451	407	2,955	阪神圏	192	217	294	243	233	223	1,402	その他地域	721	872	1,105	954	1,071	870	5,593	男性計		1,330	1,594	2,045	1,726	1,755	1,500	9,950	女性	首都圏	401	474	604	487	455	472	2,893	阪神圏	192	220	299	250	252	267	1,480	その他地域	674	831	1,066	963	1,119	1,024	5,677	女性計		1,267	1,525	1,969	1,700	1,826	1,763	10,050	TOTAL		2,597	3,119	4,014	3,426	3,581	3,263	20,000
		20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	20-79歳計																																																																																						
男性	首都圏	417	505	646	529	451	407	2,955																																																																																						
	阪神圏	192	217	294	243	233	223	1,402																																																																																						
	その他地域	721	872	1,105	954	1,071	870	5,593																																																																																						
男性計		1,330	1,594	2,045	1,726	1,755	1,500	9,950																																																																																						
女性	首都圏	401	474	604	487	455	472	2,893																																																																																						
	阪神圏	192	220	299	250	252	267	1,480																																																																																						
	その他地域	674	831	1,066	963	1,119	1,024	5,677																																																																																						
女性計		1,267	1,525	1,969	1,700	1,826	1,763	10,050																																																																																						
TOTAL		2,597	3,119	4,014	3,426	3,581	3,263	20,000																																																																																						
	※ エリアの定義とエリア計での回収数は以下の通り。 【首都圏】 東京、神奈川、埼玉、千葉／計5,848サンプル      【阪神圏】 大阪、京都、兵庫、奈良／計2,882サンプル 【その他地域】 上記以外の都道府県／計11,270サンプル																																																																																													
調査時期	2020年11月10日（火）～ 11月16日（月）																																																																																													
調査主体	一般社団法人 投資信託協会																																																																																													
調査実施機関	株式会社日本リサーチセンター																																																																																													

# 1. 本調査の回答者プロフィール



## 回答者の性別・年代

(Q30・31)



# 1. 本調査の回答者プロフィール



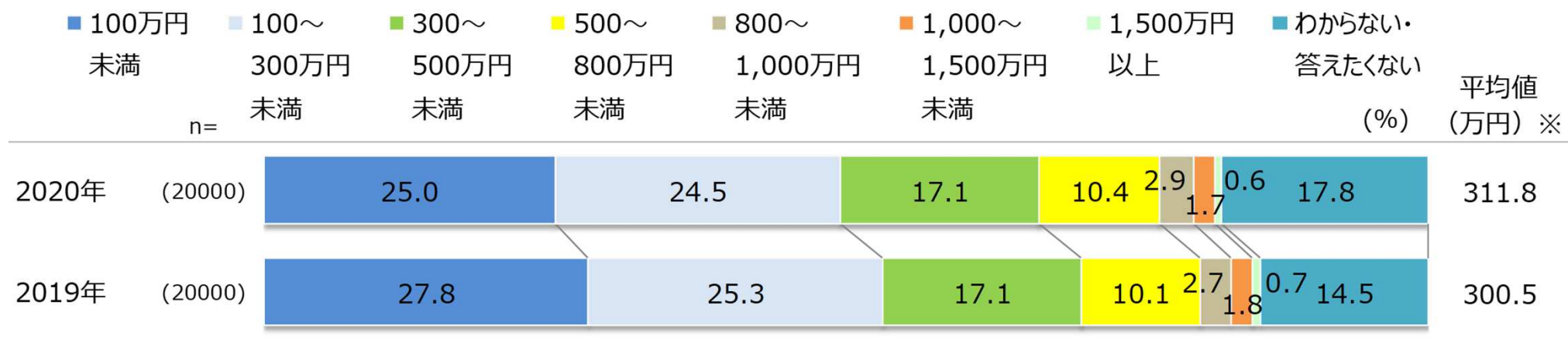
## 回答者の世帯年収

(Q33①)



## 回答者の個人年収

(Q33②)



※ 平均値は「わからない・答えたくない」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

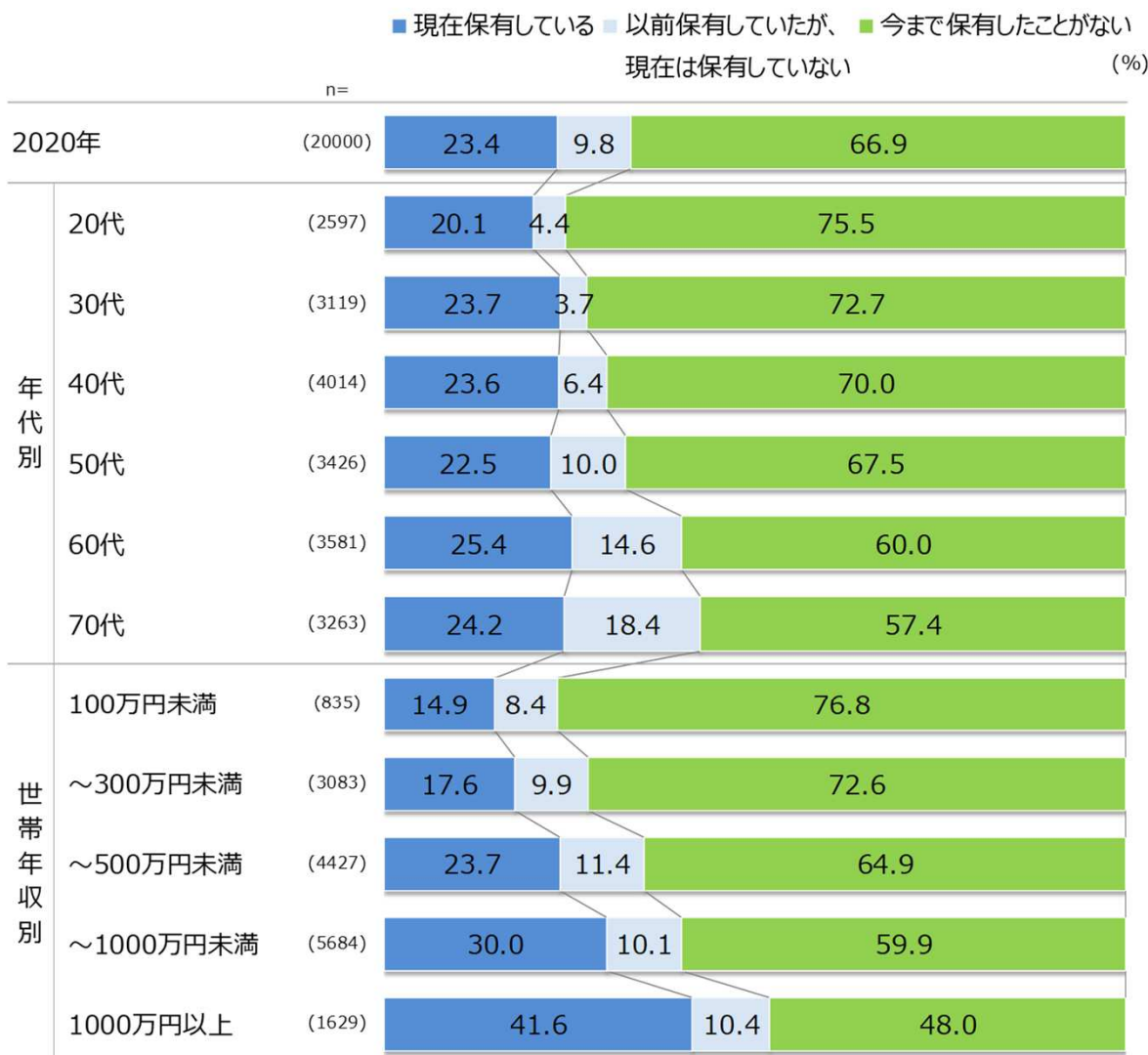
100万円未満：50万円 / 100～300万円未満：200万円 / 300～500万円未満：400万円 / 500～800万円未満：650万円 / 800万円～1000万円未満：900万円 / 1000～1500万円未満：1250万円 / 1500万円以上：1750万円

## 2. 投資信託の保有状況（1）

### 投資信託の保有状況

(Q2)

【2020年属性別】



【2019年】



- 投資信託の保有状況は、“投信現在保有層”(23.4%)、“投信保有経験層”(9.8%)、“投信保有未経験層”(66.9%)の各割合はともに、前回と同程度。
- 年代が上がるにつれて、“投信現在保有層”と“投信保有経験層”の割合が高くなる。また、世帯年収が高いほど、“投信現在保有層”の割合が増加する。前回と比べて、20代の“投信現在保有層”が5.2ポイント増加している。

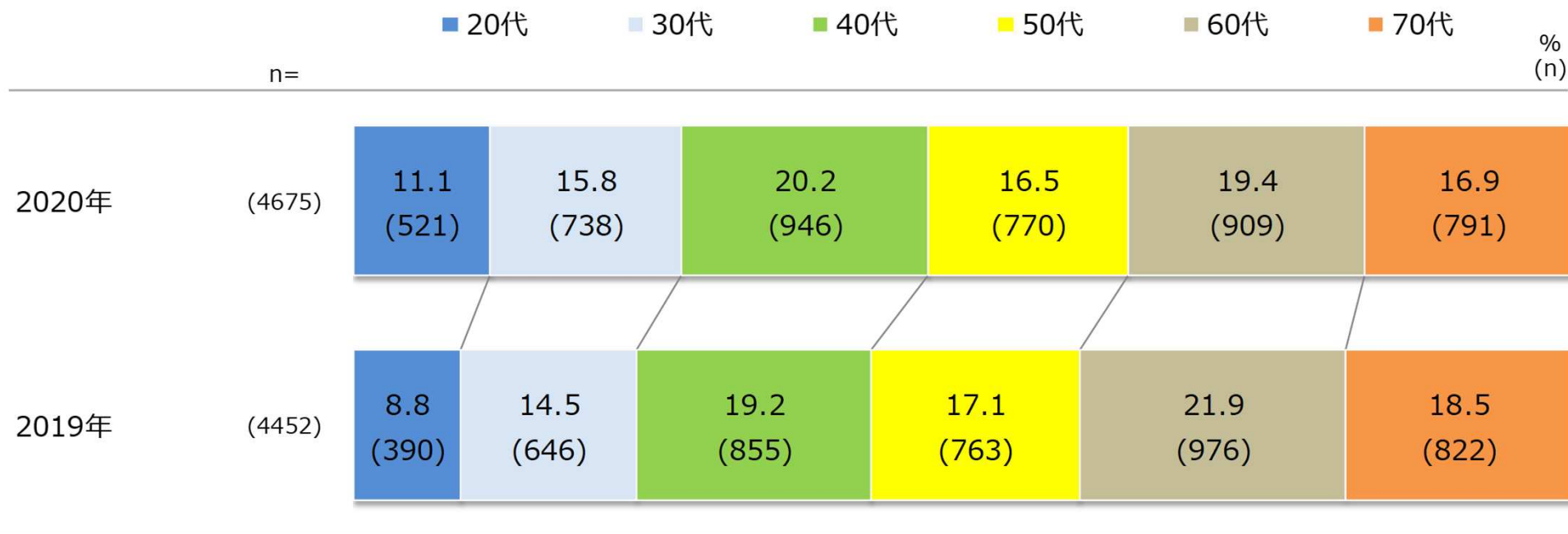
## 2. 投資信託の保有状況（2）

### 投資信託の保有状況

(Q2)

(投資信託現在保有者ベース)

【投信現在保有層の年代構成比】



- “投信現在保有層”の年代構成比は、前回と比べて20代比率が若干増加、60代以上の比率は若干減少。依然、保有層は高齢層が中心ではあるが、最も比率が高い年代は、前回の60代から今回は40代となっている。

## 2. 投資信託の保有状況（3）

### 投資信託の保有口座

(Q3)

(投資信託現在保有者ベース)

【2020年属性別】

		n=	特定口座 もしくは 一般口座 など通常の 課税口座	NISA	つみたて NISA	iDeCo (個人型 確定拠出 年金)	企業型DC (企業型 確定拠出 年金)	その他	わからない・ 忘れた	(%)
2020年		(4675)	65.1	40.4	24.4	13.5	9.6	1.0	3.4	
性別	男性	(2910)	67.2	40.3	24.3	15.5	12.9	0.9	2.7	
	女性	(1765)	61.6	40.6	24.4	10.3	4.3	1.1	4.5	
年代別	20代	(521)	48.2	32.8	48.0	18.6	15.5	1.7	4.4	
	30代	(738)	55.0	34.0	39.8	21.5	16.1	1.1	3.4	
	40代	(946)	61.0	36.0	29.9	22.4	13.0	0.7	2.7	
	50代	(770)	66.2	38.2	18.8	16.8	11.3	1.6	2.6	
	60代	(909)	74.3	50.3	11.7	3.0	3.9	0.7	3.4	
	70代	(791)	78.8	47.4	7.7	1.1	0.8	0.5	4.3	
世帯 年収別	100万円未満	(124)	60.5	44.4	21.8	12.1	4.8	0.0	3.2	
	～300万円未満	(542)	68.3	42.8	17.5	7.0	2.6	1.1	4.1	
	～500万円未満	(1049)	65.3	39.7	24.7	10.5	5.1	0.8	2.7	
	～1000万円未満	(1705)	63.4	40.0	27.9	16.7	13.0	1.0	2.4	
	1000万円以上	(677)	69.3	43.0	25.0	20.5	18.3	1.5	1.9	

【2019年】

		n=	特定口座 もしくは 一般口座 など通常の 課税口座	NISA	つみたて NISA	iDeCo (個人型 確定拠出 年金)	企業型DC (企業型 確定拠出 年金)	その他	わからない・ 忘れた	(%)
2019年		(4452)	69.7	43.2	17.4	11.8	7.1	0.7	2.4	
性別	男性	(2661)	72.2	42.1	17.6	14.1	10.0	0.6	2.4	
	女性	(1791)	66.0	44.8	17.1	8.4	2.8	0.9	2.4	
年代別	20代	(390)	51.3	33.6	39.2	18.2	14.1	0.5	4.6	
	30代	(646)	59.1	36.1	32.7	20.6	9.3	0.6	2.3	
	40代	(855)	66.9	40.0	20.2	20.5	9.8	0.6	2.1	
	50代	(763)	72.1	41.5	14.8	15.6	11.9	1.0	2.9	
	60代	(976)	74.9	49.7	7.0	2.0	2.4	1.0	1.9	
	70代	(822)	81.3	50.6	6.8	0.7	0.6	0.4	1.9	
世帯 年収別	100万円未満	(90)	70.0	42.2	10.0	11.1	3.3	0.0	6.7	
	～300万円未満	(529)	67.5	45.6	15.7	4.9	2.3	0.8	3.4	
	～500万円未満	(1006)	68.3	42.5	19.0	9.4	3.3	0.8	2.6	
	～1000万円未満	(1667)	69.3	43.1	17.3	12.7	8.4	0.7	1.2	
	1000万円以上	(710)	75.6	45.2	19.2	20.3	16.5	1.0	1.8	

- 投資信託の保有口座は、「特定口座もしくは一般口座など通常の課税口座」が65.1%と最も高く、「NISA」(40.4%)が続く。「つみたてNISA」(24.4%)、「iDeCo（個人型確定拠出年金）」(13.5%)は10～20%台となっている。
- 「つみたてNISA」は、前回に比べて全体では7.0ポイント増加し、20代では8.8ポイント、30代では7.1ポイント、40代では9.7ポイント増加している。
- 「特定口座もしくは一般口座など通常の課税口座」「NISA」は高齢層で、「つみたてNISA」は若年層ほど保有率が高い。



## 2. 投資信託の保有状況（4）

### 現在保有している投資信託の本数

(Q4)

(投資信託現在保有者ベース)



※ 平均値は「本数不明・回答拒否」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は次の通り 1~2本：1.5本 / 3~5本：4本 / 6~10本：8本 / 11本以上：13本

### 保有している投資信託の種類（重複回答）

(Q6)

(投資信託現在保有者ベース)



※平均保有種類数の算出方法

- ① 投信保有者(n=4675/4452)から「種類不明・回答拒否」を控除。
- ② 平均保有数は、保有種類別回答者数の延べの総数を、①で割って算出。

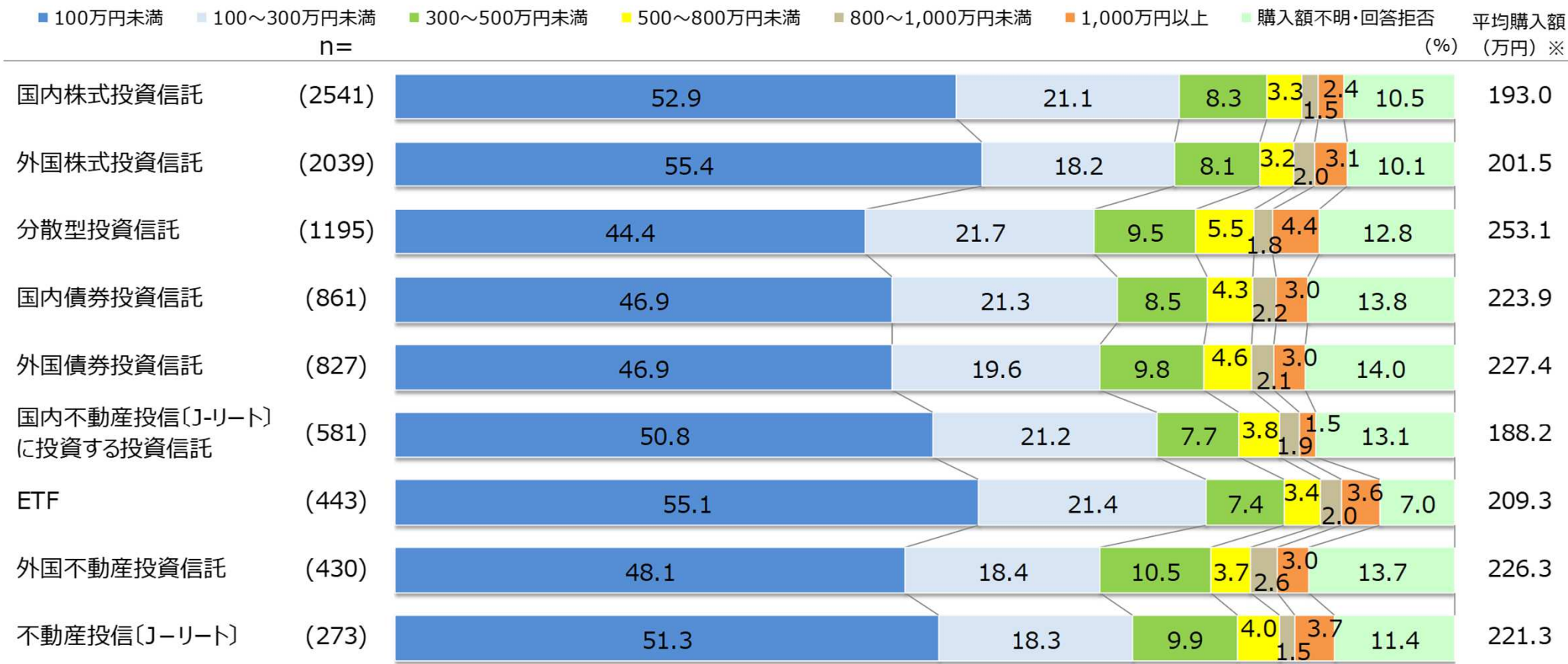
- 現在保有している投資信託の保有本数は、「1~2本」(47.5%)が約半数を占め、平均本数は3.6本で前回と変わらない。
- 現在保有している投資信託の種類は、「国内株式投資信託」が54.4%で最も高く、「外国株式投資信託」(43.6%)、「分散型投資信託」(25.6%)、「国内債券投資信託」(18.4%)、「外国債券投資信託」(17.7%)が続く。前回より「外国株式投資信託」が6.4ポイント増加。平均保有種類数は2.17種類で、前回に比べて若干減少。

## 2. 投資信託の保有状況（5）

### 保有している投資信託の種類別購入額

(Q7)

(各投資信託現在保有者ベース)



※ 平均値は「購入額不明・回答拒否」を除いて算出。算出にあたってのウエイト値は以下の通り

100万円未満：50万円 / 100~300万円未満：200万円 / 300~500万円未満：400万円 / 500~800万円未満：650万円 / 800~1000万円未満：900万円 / 1000万円以上：1500万円

- 種類別の平均購入額は、「分散型投資信託」が253.1万円で最も高く、「外国債券投資信託」が227.4万円、「外国不動産投資信託」が226.3万円、「国内債券投資信託」が223.9万円、「不動産投信」が221.3万円と続く。

# 3. 投資信託の購入・保有に関する意識（1）



## 投資信託の特徴で知っているもの（重複回答）

(Q12) ※選択肢「過去の運用実績は、将来のリターンを保証するものではない」は2020年より聴取  
 ※2020年は「国内籍の投資信託と外国籍の投資信託がある」、2019年は「国内の投資信託と海外の投資信託」で聴取

		n=	元本の保証はない	リスクとリターンは表裏一体の関係	価格変動と為替リスクがある	証券会社以外でも購入できる	過去実績は将来のリターンを保証するものではない	国内籍の投資信託と外国籍の投資信託がある	国内の投資信託と海外の投資信託がある	運用会社は、NISAやDCAで	販売手数料は別に	投資信託の運用コストは、手数料が別	基投資額は協会の新開	MRFは投資信託	投資信託は、分ける	この中で知っていない	
2020年		(20000)	49.7	40.9	34.5	31.2	30.6	24.9	24.4	24.4	21.0	12.0	10.6	10.5	9.2	33.8	
2019年		(20000)	51.6	40.5	36.3	34.5	-	37.0	26.9	24.7	22.5	12.8	11.6	11.3	9.9	34.3	
性別	男性	(9950)	51.9	43.1	37.9	32.2	34.6	28.3	29.7	26.1	25.1	15.4	13.0	13.1	12.1	30.3	
	女性	(10050)	47.5	38.7	31.0	30.2	26.6	21.6	19.2	22.7	16.8	8.7	8.1	7.9	6.3	37.2	
年代別	20代	(2597)	28.0	33.1	27.7	18.4	20.8	17.7	17.0	18.3	13.7	7.9	6.2	6.7	6.9	42.5	
	30代	(3119)	39.8	37.2	29.5	24.0	25.3	19.7	21.0	22.4	17.3	11.5	8.4	7.2	8.7	38.4	
	40代	(4014)	48.1	39.8	31.4	28.3	29.7	22.9	23.2	24.2	19.8	12.2	9.7	9.8	9.4	36.1	
	50代	(3426)	56.5	43.4	35.2	33.5	33.9	25.5	26.8	24.3	23.0	13.1	11.3	11.6	10.1	31.9	
	60代	(3581)	60.0	44.8	38.8	38.3	35.4	29.2	29.2	28.6	27.4	25.5	13.6	12.8	13.3	9.9	28.8
	70代	(3263)	59.8	45.1	42.8	41.5	35.6	32.7	32.7	27.9	28.2	24.4	12.7	13.9	13.1	9.6	27.1
世帯年収別	100万円未満	(835)	38.3	29.9	24.0	20.1	20.4	15.9	14.4	16.5	13.9	7.7	6.7	7.2	5.4	46.8	
	～300万円未満	(3083)	46.5	36.9	30.5	27.7	26.8	21.5	20.3	21.5	17.6	9.1	8.7	8.3	6.0	38.5	
	～500万円未満	(4427)	51.7	42.7	36.6	33.4	31.6	25.2	25.1	25.3	21.6	11.6	10.9	10.4	8.9	30.6	
	～1000万円未満	(5684)	56.1	47.9	40.6	35.9	37.2	30.1	30.0	28.6	25.3	14.8	12.6	12.6	11.9	25.1	
	1000万円以上	(1629)	63.0	53.0	47.9	41.3	42.8	37.2	37.2	36.5	34.6	33.1	23.2	18.5	20.9	18.6	17.1
保有状況別	保有層・保有経験層	現在保有層	(4675)	72.9	64.9	61.0	54.5	57.1	50.4	51.0	48.3	47.0	28.3	26.6	24.6	22.0	6.0
		保有経験層(現在非保有)	(1951)	71.1	57.7	55.4	49.3	50.3	46.5	38.9	29.9	35.1	20.7	19.5	22.8	15.8	8.4
	保有未経験層	金融資産保有経験層	(3101)	54.7	40.2	33.7	31.5	28.7	21.4	21.3	22.8	17.1	8.4	6.1	7.1	6.8	31.6
		金融資産保有経験無	(10273)	33.5	27.0	18.7	17.0	15.3	10.3	10.5	12.9	7.6	4.1	2.9	2.7	2.8	51.9
現在保有信託別	株式投資信託保有層	(3350)	74.4	66.5	63.6	56.5	59.0	53.5	53.9	50.9	50.6	31.1	28.4	27.1	25.0	3.9	
	その他投資信託保有層	(887)	76.3	70.7	64.0	56.1	62.5	52.3	52.3	48.3	47.1	27.1	27.7	23.0	19.2	3.5	

- 投資信託の特徴認知では、「元本保証がない」(49.7%)が特に高く、「リスクとリターンは表裏一体の関係」(40.9%)が続く。「価格変動と為替リスクがある」「証券会社以外でも購入できる」「過去実績は将来のリターンを保証するものではない」も30%台で上位。
- 年代別、世帯年収が高くなるほど、いずれの商品特徴の認知率も高くなる。

# 3. 投資信託の購入・保有に関する意識（2）



## 投資信託の特徴で知っているもの（重複回答）

(Q12)

		n=	元本の保証はない	リスクリターンは	関係にある	価格変動、す	外国に投資する	もリスクリターン	銀行などが、外	証券会社、外	購入できる	過去の実績は、	将来の期待は、	保証するもの	ない	国内籍の投資信託	ある	運用会社が、	運用している	NISAでできる	購入できる	販売手数料が別	かかる	行う会社が評価を	投資信託の金額は新聞や	見ることができ	MRFは投資信託	商品ではある	投資信託は、別	管理されている	この中で知らない				
2020年 TOTAL		(20000)	49.7	40.9	34.5	31.2	30.6	24.9	24.4	24.4	21.0	12.0	10.6	10.5	9.2	33.8																			
年代×世帯年収別	20代																																		
	100万円未満	(171)	19.3	25.7	22.2	9.9	12.9	12.3	12.3	14.6	10.5	7.6	5.8	8.8	5.3	51.5																			
	～300万円未満	(379)	24.5	29.0	26.6	11.9	16.6	12.7	13.7	14.0	11.3	3.4	3.4	4.2	4.2	49.1																			
	～500万円未満	(566)	33.7	38.5	32.2	23.0	24.2	21.4	21.6	21.6	15.4	9.5	7.2	7.8	7.2	31.4																			
	～1000万円未満	(667)	33.1	41.8	35.7	24.9	27.7	24.7	22.2	24.1	18.3	10.5	7.9	9.3	9.6	30.0																			
	1000万円以上	(189)	42.3	41.8	35.4	28.0	31.2	23.8	23.3	23.8	20.1	15.3	11.6	10.1	15.9	21.7																			
	30代																																		
	100万円未満	(94)	29.8	30.9	19.1	16.0	18.1	11.7	13.8	11.7	9.6	10.6	6.4	4.3	5.3	50.0																			
	～300万円未満	(352)	33.5	31.8	24.7	19.0	21.0	15.3	15.9	17.0	12.2	8.8	5.4	3.7	4.8	47.7																			
	～500万円未満	(732)	38.8	36.2	27.0	20.1	21.9	17.3	18.9	20.1	14.8	9.8	7.1	7.2	6.1	39.6																			
～1000万円未満	(1151)	46.7	45.2	36.1	30.8	32.1	26.0	25.6	27.4	21.5	14.0	10.7	9.0	11.0	28.3																				
1000万円以上	(220)	56.4	46.8	48.2	38.6	37.3	34.5	36.8	38.6	35.0	25.0	18.6	15.0	21.8	10.5																				
40代																																			
100万円未満	(152)	36.2	28.3	21.7	23.7	19.1	15.1	11.2	15.8	14.5	7.9	5.9	7.9	4.6	51.3																				
～300万円未満	(443)	38.1	34.1	23.3	21.2	23.0	15.6	16.9	16.5	13.5	9.5	6.8	6.5	6.1	46.7																				
～500万円未満	(786)	47.5	37.4	30.5	27.0	28.5	21.5	21.6	23.4	18.2	10.1	8.7	8.8	9.2	35.9																				
～1000万円未満	(1484)	56.1	46.3	37.7	34.0	36.7	27.8	29.4	29.8	24.9	15.2	12.7	11.8	12.1	27.0																				
1000万円以上	(360)	59.2	53.1	45.0	37.8	41.7	34.2	34.7	34.7	31.9	22.5	17.8	20.6	17.8	20.8																				

# 3. 投資信託の購入・保有に関する意識（3）



## 投資信託の特徴で知っているもの（重複回答）

(Q12)

		n=	元本の保証はない	裏面にあるタインは	関係にある	外国に投資する	リスクリスクがある	銀行などが、外の	証券会社、外の	購入できる	過去の実績は、をは	将来のリスクは、をは	ない	国内籍の投資信託とが	ある	運用会社がある	運用信託は、	NISA信託できる	購入できる	販売手数料は別	かかる	行信託の価値を	投資信託の価値を	見ることができる	MRFは投資信託	投資信託は、別の	管理銀行は、別の	この中では知らない						
2020年 TOTAL		(20000)	49.7	40.9	34.5	31.2	30.6	24.9	24.4	24.4	21.0	12.0	10.6	10.5	9.2	33.8																		
年代×世帯年収別	50代	100万円未満	(144)	54.2	40.3	27.8	28.5	31.9	23.6	25.7	19.4	21.5	8.3	11.1	6.9	8.3	38.2																	
		～300万円未満	(438)	50.7	37.2	28.3	25.3	28.8	18.3	18.9	18.0	17.8	9.4	8.0	9.6	6.2	39.3																	
		～500万円未満	(583)	53.0	40.1	32.8	30.7	30.7	22.0	24.0	22.8	20.6	10.3	10.1	8.1	8.6	34.8																	
		～1000万円未満	(1098)	62.2	47.9	40.0	36.9	38.2	28.6	31.1	27.0	25.7	13.8	11.2	13.1	10.9	25.2																	
		1000万円以上	(480)	70.4	58.1	51.5	46.0	47.5	39.6	40.2	36.5	36.0	24.2	19.4	22.3	18.3	15.8																	
	60代	100万円未満	(184)	52.7	32.1	28.3	25.5	25.5	17.4	14.7	21.2	15.2	6.5	6.5	6.0	4.3	38.6																	
		～300万円未満	(701)	56.6	40.1	31.8	33.7	29.1	24.7	24.8	25.7	22.5	10.7	10.7	10.1	6.6	32.5																	
		～500万円未満	(816)	63.6	50.0	44.6	44.4	40.7	29.9	31.6	29.3	29.2	15.8	15.7	14.3	11.6	24.9																	
		～1000万円未満	(805)	69.3	53.9	47.8	44.8	44.6	37.6	36.8	32.0	31.7	18.4	16.0	16.8	13.7	19.5																	
		1000万円以上	(265)	68.7	53.6	49.4	46.4	44.5	42.6	35.8	34.0	35.1	23.0	18.5	26.8	17.4	17.7																	
	70代	100万円未満	(90)	32.2	18.9	21.1	13.3	10.0	13.3	5.6	12.2	8.9	5.6	3.3	8.9	4.4	57.8																	
		～300万円未満	(770)	56.5	41.6	39.1	39.1	33.4	31.2	24.0	28.3	21.0	10.3	12.5	11.2	6.6	29.5																	
		～500万円未満	(944)	64.8	49.9	47.4	47.4	38.7	34.4	29.9	31.3	27.8	12.7	14.4	13.7	9.6	21.0																	
		～1000万円未満	(479)	74.7	58.0	56.2	51.6	48.9	45.1	38.8	31.5	34.2	18.2	21.1	19.8	15.9	14.2																	
		1000万円以上	(115)	78.3	60.9	58.3	47.8	52.2	51.3	48.7	38.3	38.3	31.3	27.8	31.3	23.5	13.9																	

### 3. 投資信託の購入・保有に関する意識（4）

#### 他の金融商品と比較して投資信託に特に魅力を感じる点

(Q15②) ※2020年は「外国への投資が手軽にできる」、  
2019年は「海外投資が手軽にできる」で聴取

(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)

		少額でも分散投資ができる	専門知識や時間がなくても投資ができる	比較的高い利回りが期待できる	積立投資ができる	定期的に分配金が受け取れる	少額でも投資の面白味がある	種類が豊富で目的に応じたものが選べる	分配金が自動的に再投資される商品がある	手数料が比較的安い	購入手続きが簡単である	外国への投資が手軽にできる	購入後の運用に関する情報が多い	その他	わからない・特にな	
n=																(%)
2020年	(6626)	24.3	12.9	9.4	8.4	7.4	5.9	3.7	2.7	2.6	2.3	1.9	0.9	0.2	17.6	
2019年	(6449)	23.2	12.3	9.4	6.9	9.2	6.1	3.2	2.1	2.5	2.3	1.6	0.8	0.2	20.0	
年代別	20代 (635)	34.6	11.8	6.9	11.7	2.8	7.9	4.1	3.1	3.0	1.9	1.7	1.6	0.3	8.5	
	30代 (853)	33.1	13.7	6.3	12.4	2.7	6.8	3.2	2.3	3.6	1.9	1.8	1.4	0.1	10.7	
	40代 (1204)	32.3	11.3	7.8	10.6	3.5	6.3	4.2	3.0	2.8	1.6	2.7	1.0	0.2	12.7	
	50代 (1112)	25.1	13.6	10.4	8.6	6.0	6.3	3.0	1.8	3.2	2.3	2.1	0.5	0.3	16.7	
	60代 (1432)	16.4	14.2	11.6	6.2	10.2	5.2	3.8	2.8	2.3	2.8	1.5	0.6	0.1	22.4	
	70代 (1390)	14.7	12.3	10.7	4.7	14.1	4.5	3.7	2.9	1.3	2.8	1.5	0.6	0.2	25.8	

#### 他の金融商品と比較して投資信託に特に不満を感じる点

(Q16②)

(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)

		手数料が比較的高い	元本保証がない	仕組みや運用手法がわかりにくい	リターンが低い	専門知識がないと商品を選びにくい	株式に比べて面白さに欠ける	種類が多く選択に迷う	公社債に比べてリスクが高い	購入後の運用に関する情報が少ない	クローズド期間がある	手続きがわずらわしい	その他	わからない・特にな		
n=																(%)
2020年	(6626)	14.1	14.0	10.6	10.4	7.4	6.0	5.0	4.6	3.2	2.2	2.1	0.7	19.8		
2019年	(6449)	14.7	15.2	9.7	11.0	6.8	6.1	4.4	5.6	2.8	1.5	1.8	0.4	19.7		
年代別	20代 (635)	7.9	4.6	14.2	11.7	10.1	8.3	6.1	5.2	6.0	2.8	3.1	0.5	19.5		
	30代 (853)	10.2	6.8	13.0	11.8	10.0	6.9	6.1	3.8	4.2	2.5	3.8	0.6	20.4		
	40代 (1204)	13.5	9.6	10.3	12.7	8.2	6.4	4.5	4.3	2.7	3.1	2.9	0.8	21.1		
	50代 (1112)	16.2	14.6	11.0	11.5	5.5	4.9	4.8	4.2	3.1	2.0	1.8	0.7	19.8		
	60代 (1432)	16.1	18.2	9.3	9.1	6.8	5.4	5.5	4.9	2.5	1.7	1.3	0.7	18.4		
	70代 (1390)	16.3	21.7	8.6	7.3	5.8	5.4	4.0	5.3	2.7	1.7	0.9	0.6	19.6		

- 投資信託で特に魅力を感じる点は、「少額でも分散投資ができる」「専門知識や時間がなくても投資できる」が上位。  
若年層ほど「少額でも分散投資ができる」「積立投資ができる」が高く、高齢層ほど「定期的に分配金が受け取れる」が高くなる傾向。
- 投信で特に不満を感じる点は、「手数料が比較的高い」「元本保証がない」「仕組みや運用手法がわかりにくい」「リターンが低い」が上位。  
高齢層ほど「手数料が比較的高い」「元本保証がない」が、若年層では「仕組みや運用手法がわかりにくい」「リターンが低い」「専門知識がないと商品を選びにくい」が高い傾向。

### 3. 投資信託の購入・保有に関する意識（5）

#### 投資信託の購入の際に重視した点（重複回答）

(Q10①)

(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)

	n=	過去の運用実績	値上がりへの期待	値下がり不安が少ない	手数料や運用管理費用の水準	少額から投資できる	換金のしやすさ	過去の分配金額	商品内容のわかりやすさ	分配頻度	純資産額の大きさ	商品コンセプト	評価会社による評価	社会性が高い企業が投資先	その他	特にない
2020年	(6626)	37.1	32.9	26.6	23.7	18.7	11.0	10.6	10.6	8.2	7.1	5.9	4.7	3.5	0.7	11.9
2019年	(6449)	35.2	33.8	26.5	22.6	17.6	10.8	10.4	11.4	10.1	6.2	5.6	4.7	2.9	0.4	12.8
年代別	20代 (635)	41.4	27.6	29.8	26.3	20.6	11.0	7.1	7.9	5.2	6.5	4.6	3.3	3.0	0.0	9.6
	30代 (853)	39.7	33.1	24.3	30.7	17.2	7.7	6.6	8.9	5.6	8.0	6.3	3.0	2.9	0.5	10.8
	40代 (1204)	39.1	30.6	25.5	30.0	23.6	7.9	9.1	10.5	6.7	9.2	7.0	4.9	2.5	0.3	10.0
	50代 (1112)	35.7	32.3	26.0	25.8	20.2	9.3	8.8	12.0	8.1	6.7	5.8	4.7	3.6	1.5	12.2
	60代 (1432)	37.8	34.7	26.7	21.2	14.9	12.3	12.8	11.7	9.6	6.4	5.9	5.7	4.2	0.3	12.8
	70代 (1390)	32.2	36.0	27.8	13.7	17.4	15.5	15.0	10.6	11.1	6.2	5.4	5.1	4.3	1.2	13.9

#### 投資信託の購入の際に今後重視したい点（重複回答）

(Q10②)

(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)

	n=	過去の運用実績	値上がりへの期待	値下がり不安が少ない	手数料や運用管理費用の水準	少額から投資できる	商品内容のわかりやすさ	換金のしやすさ	過去の分配金額	純資産額の大きさ	分配頻度	商品コンセプト	社会性が高い企業が投資先	評価会社による評価	その他	特にない
2020年	(6626)	26.9	26.4	23.2	19.8	12.4	8.3	8.1	6.6	5.8	5.6	5.5	4.2	4.2	0.7	15.5
2019年	(6449)	24.7	26.5	23.2	19.3	11.4	8.3	8.0	6.8	5.0	6.3	5.4	3.2	3.6	0.5	17.4
年代別	20代 (635)	30.9	22.5	22.7	20.9	12.4	6.0	8.3	5.5	5.5	5.2	4.4	3.5	3.0	0.0	11.5
	30代 (853)	31.2	28.8	23.0	27.0	13.4	6.9	5.3	5.5	6.6	4.2	5.4	4.0	3.4	0.5	11.0
	40代 (1204)	30.0	24.9	22.0	26.3	16.1	7.6	6.8	6.1	8.1	5.0	6.8	3.4	4.7	0.2	11.8
	50代 (1112)	26.7	27.2	23.9	22.1	13.4	9.8	8.1	5.1	5.1	5.3	5.7	3.5	4.3	1.3	14.5
	60代 (1432)	25.4	27.2	23.8	16.3	10.4	8.9	9.1	6.8	4.7	5.6	5.7	5.2	4.3	0.6	18.4
	70代 (1390)	21.4	26.4	23.5	11.2	9.8	8.8	9.9	9.1	9.1	5.0	7.5	4.5	4.8	4.5	1.3

- 投資信託の購入の際に重視した点と今後重視したい点は、購入の際は「過去の運用実績」「値上がりへの期待」「値下がり不安が少ない」が上位。今後の重視点でも「過去の運用実績」「値上がりへの期待」「値下がり不安が少ない」が上位。購入時の重視点と今後の重視点の上位5位は同順。
- 購入の際の重視点、今後重視したい点ともに、若年層ほど「過去の運用実績」「手数料や運用管理費用の水準」の重視率が高くなる傾向。

### 3. 投資信託の購入・保有に関する意識（6）

#### 投資信託の償還・売却で得た資金の流出先（重複回答）

(Q14)

(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)

		n=	預貯金・MRF などにまわした	生活資金として 引き出した	すぐに 株式、債券を 購入した	すぐに 他の投資信託を 購入した	まとまった支出に あてた ※生活資金に あてた場合を除く	その他	売却経験なし/ 償還でお金を 得たことはない (%)
2020年		(6626)	25.4	20.3	19.2	18.9	10.5	1.7	28.8
2019年		(6449)	26.5	19.2	19.5	18.0	10.1	1.8	28.0
年代別	20代	(635)	24.7	18.3	25.4	22.7	8.0	0.2	34.2
	30代	(853)	20.2	15.4	21.5	25.2	7.4	0.2	38.2
	40代	(1204)	22.2	16.5	19.2	20.2	8.3	1.2	36.0
	50代	(1112)	22.5	19.2	18.6	17.1	9.9	1.0	32.2
	60代	(1432)	29.7	23.7	16.8	16.6	10.6	2.4	22.9
	70代	(1390)	29.7	24.7	17.8	16.0	16.0	3.5	17.7
世帯年収別	100万円未満	(194)	20.6	25.8	14.9	17.5	6.7	1.5	30.9
	～300万円未満	(846)	25.3	27.1	16.8	17.8	9.8	1.9	25.2
	～500万円未満	(1553)	23.3	24.1	18.5	17.6	11.4	1.7	26.7
	～1000万円未満	(2277)	26.3	17.3	21.4	20.5	10.6	1.4	29.3
	1000万円以上	(847)	29.8	13.8	23.7	24.4	10.7	1.1	28.0

- 投資信託の償還・売却資金流出先は、「預貯金・MRFなどにまわした」(25.4%)が最も高いが、「売却経験なし／償還でお金を得たことはない」も28.8%と高い。
- 年代別では、高齢層ほど「生活資金」「預貯金・MRF」「まとまった支出」が増加傾向。「すぐに株式・債券を購入」「すぐに他の投資信託購入」は40代以下でやや高い傾向。



### 3. 投資信託の購入・保有に関する意識（7）

#### 投資信託の償還・売却で得た資金の流出先（重複回答）

(Q14)

(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)

		n=	預貯金・MRF などにまわした	生活資金として 引き出した	すぐに 株式、債券を 購入した	すぐに 他の投資信託を 購入した	まとまった支出に あてた ※生活資金に あてた場合を除く	その他	売却経験なし/ 償還でお金を 得たことはない (%)	
2020年 TOTAL		(6626)	25.4	20.3	19.2	18.9	10.5	1.7	28.8	
年代× 世帯 年収別	20代	100万円未満	(24)	29.2	8.3	20.8	12.5	8.3	0.0	33.3
		～300万円未満	(68)	29.4	25.0	19.1	11.8	5.9	0.0	38.2
		～500万円未満	(178)	20.2	16.9	25.8	25.8	6.2	0.0	33.7
		～1000万円未満	(242)	27.3	17.4	25.6	23.6	9.5	0.0	33.1
		1000万円以上	(67)	29.9	20.9	38.8	29.9	10.4	0.0	22.4
	30代	100万円未満	(17)	23.5	11.8	23.5	23.5	5.9	0.0	35.3
		～300万円未満	(47)	17.0	23.4	10.6	23.4	8.5	0.0	48.9
		～500万円未満	(187)	17.1	18.2	21.4	21.9	5.3	0.5	40.1
		～1000万円未満	(411)	21.4	15.1	23.8	27.7	7.5	0.2	34.3
		1000万円以上	(110)	23.6	10.9	23.6	29.1	11.8	0.0	36.4
	40代	100万円未満	(30)	20.0	16.7	23.3	23.3	10.0	0.0	33.3
		～300万円未満	(84)	16.7	21.4	15.5	20.2	7.1	2.4	38.1
		～500万円未満	(221)	18.6	19.5	20.8	19.5	6.8	1.8	32.1
		～1000万円未満	(558)	23.5	15.4	21.1	20.1	8.4	0.5	35.8
		1000万円以上	(187)	26.7	15.0	17.6	25.1	9.6	1.1	31.6

### 3. 投資信託の購入・保有に関する意識（8）

#### 投資信託の償還・売却で得た資金の流出先（重複回答）

(Q14)

(投資信託現在保有者・保有経験者ベース)

		n=	預貯金・MRF などにまわした	生活資金として 引き出した	すぐに 株式、債券を 購入した	すぐに 他の投資信託を 購入した	まとまった支出に あてた ※生活資金に あてた場合を除く	その他	売却経験なし/ 償還でお金を 得たことはない (%)	
2020年 TOTAL		(6626)	25.4	20.3	19.2	18.9	10.5	1.7	28.8	
年代×世帯年収別	50代	100万円未満	(42)	21.4	31.0	14.3	14.3	0.0	0.0	35.7
		～300万円未満	(103)	16.5	29.1	12.6	15.5	8.7	0.0	31.1
		～500万円未満	(155)	14.2	26.5	17.4	12.3	12.3	0.6	32.3
		～1000万円未満	(414)	24.9	17.1	18.6	16.7	10.1	1.2	30.9
		1000万円以上	(248)	24.6	12.1	26.6	23.4	9.7	0.4	31.9
	60代	100万円未満	(61)	18.0	34.4	9.8	21.3	8.2	1.6	26.2
		～300万円未満	(247)	31.2	29.1	20.2	16.2	9.7	2.4	17.4
		～500万円未満	(346)	28.6	27.5	14.2	17.3	11.6	2.0	23.1
		～1000万円未満	(389)	31.9	19.8	19.0	15.9	12.6	2.3	21.9
		1000万円以上	(159)	37.7	13.2	19.5	20.8	8.8	2.5	22.6
	70代	100万円未満	(20)	15.0	35.0	5.0	5.0	10.0	10.0	25.0
		～300万円未満	(297)	26.3	27.3	16.2	19.9	12.1	2.7	19.2
		～500万円未満	(466)	28.3	28.1	17.2	13.9	17.6	3.0	16.7
		～1000万円未満	(263)	33.1	20.9	22.1	20.2	19.0	5.3	12.9
		1000万円以上	(76)	46.1	15.8	25.0	22.4	19.7	2.6	10.5

# 4. 投資信託の積立投資の認知・利用状況（1）



## 積立投資プランの認知状況

(Q19)

	n=	少額から利用できること	長い時間をかけて資産運用したい人に向いていること	つみたてNISA・確定拠出年金等の税制優遇制度でも活用できる	自動引き落としが利用できる そのつど申し込む 必要がない	ドル・コスト平均法の効果が得られること	その他に知っている内容 必要がない	積立投資プランがあることを知らない
2020年	(20000)	44.0	24.4	21.1	19.7	14.7	0.1	44.5
2019年	(20000)	43.1	22.8	19.2	18.7	13.5	0.1	46.7

→ 「積立投資プラン」の認知率2020年55.5%/2019年53.3%(赤枠内のいずれかの特徴を知っている人)

年代別	n=	41.3	21.7	17.8	16.9	15.4	0.1	44.3
20代	(2597)	41.3	21.7	17.8	16.9	15.4	0.1	44.3
30代	(3119)	45.0	24.9	22.2	19.3	17.8	0.1	41.9
40代	(4014)	43.6	24.9	21.7	19.3	17.4	0.0	44.4
50代	(3426)	43.7	23.0	19.9	20.6	14.9	0.2	46.4
60代	(3581)	44.4	24.8	21.7	20.0	12.3	0.1	45.3
70代	(3263)	45.8	26.4	22.3	21.5	10.4	0.2	44.2

- 積立投資プランの認知率は55.5%と半数以上になる。  
認知内容は「少額から利用できる」(44.0%)が特に高く、以下「長い時間をかけて資産運用したい人向き」「つみたてNISA・確定拠出年金等でも活用可能」「自動引き落としが利用可能」が20%前後で続く。

# 4. 投資信託の積立投資の認知・利用状況（2）

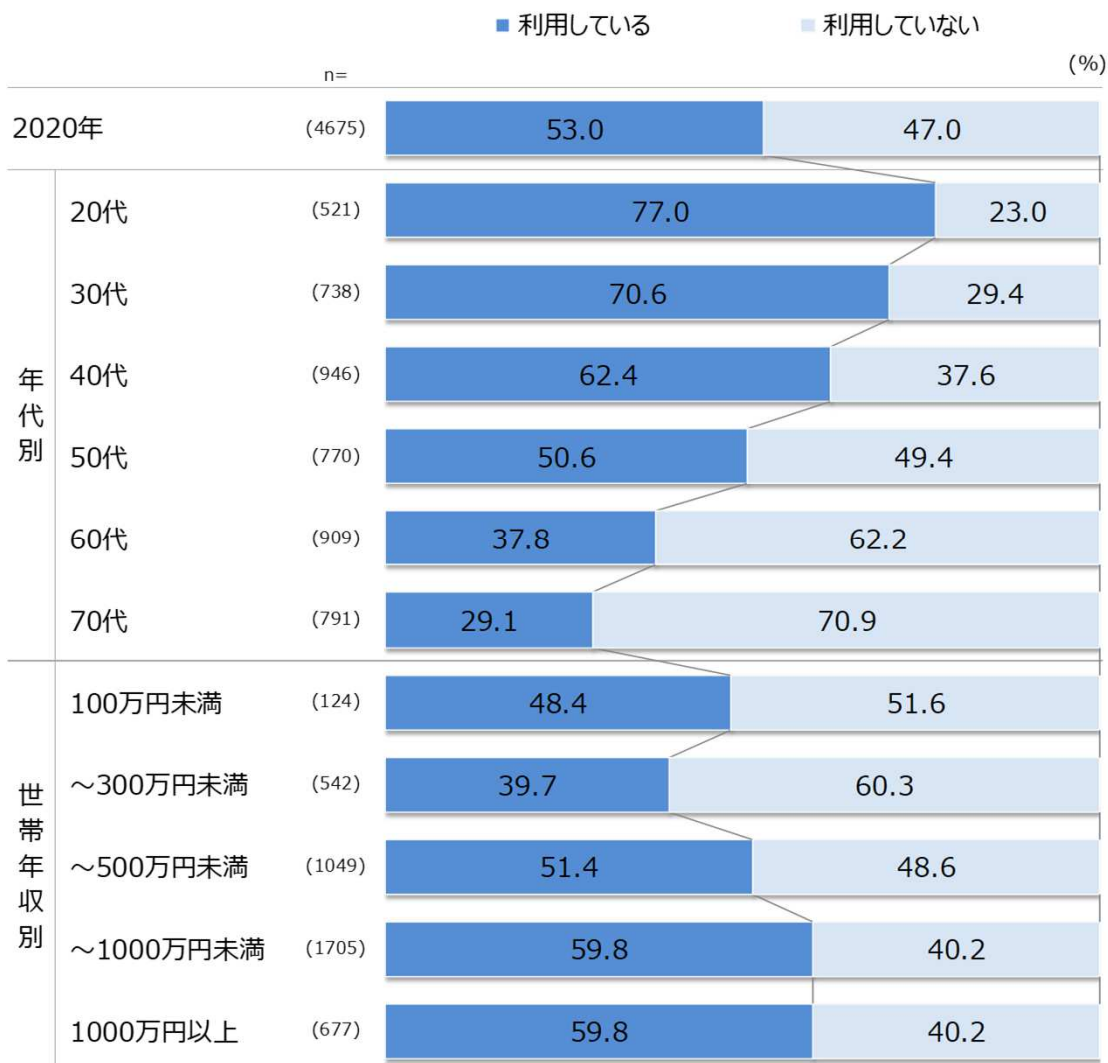


## 投資信託の積立投資の利用状況

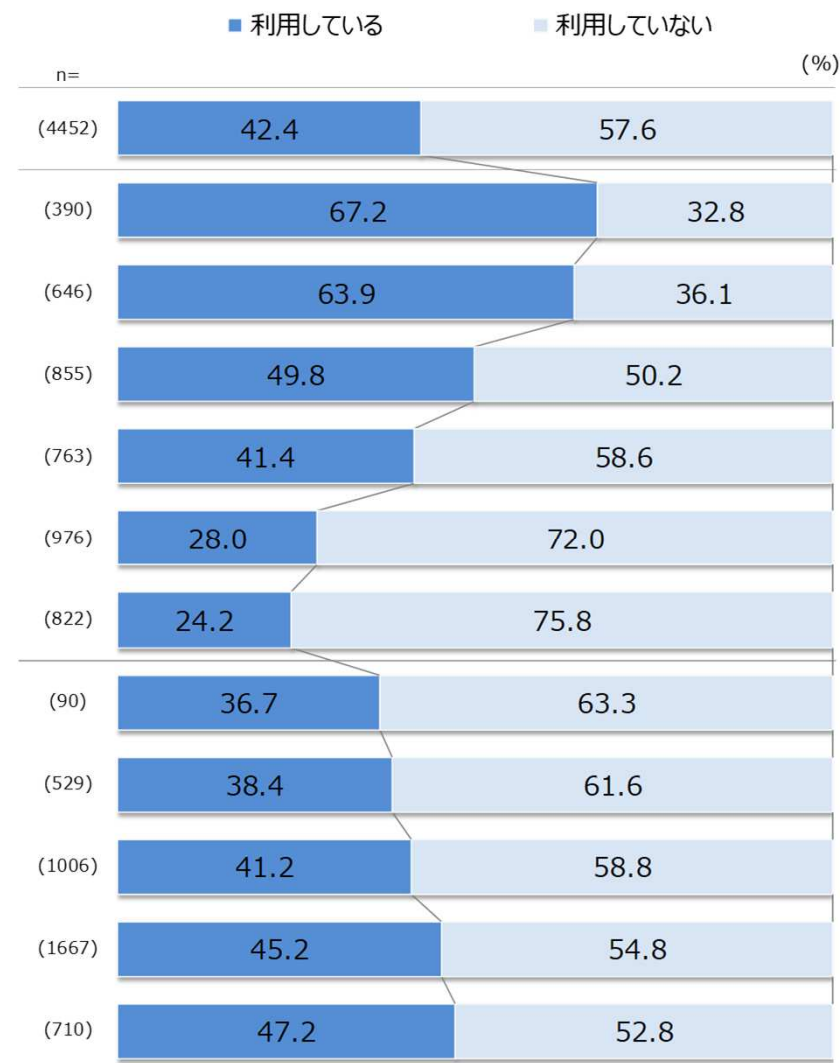
(Q18)

(投資信託現在保有者ベース)

【2020年属性別】



【2019年】



- 投資信託現在保有層の積立投資利用率は53.0%で、前回と比べて10.6ポイント増加。また、全ての世代で増加している。
- 年代別では若年層ほど積立投資利用率が高く、特に20・30代は70%以上と高い。

# 4. 投資信託の積立投資の認知・利用状況（3）

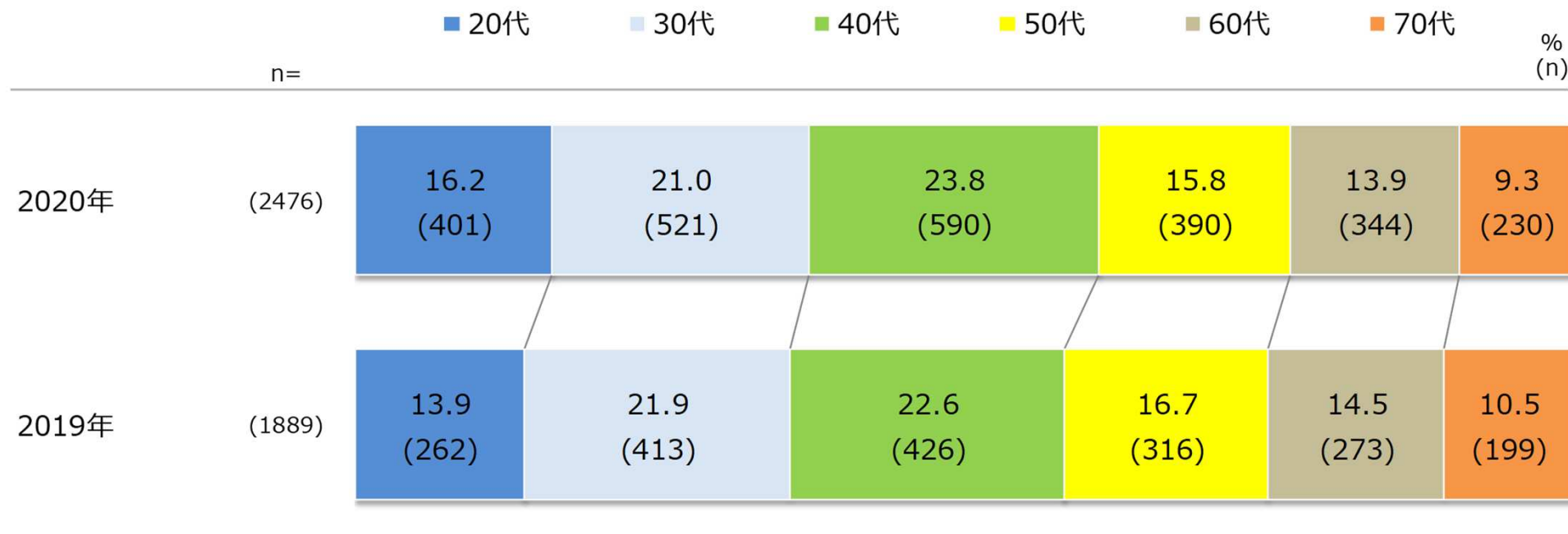


## 投資信託の積立投資の利用状況

(Q18)

(投資信託現在保有者で積立投資利用者ベース)

【積立投資利用者の年代構成比】



- 積立利用投資者の年代構成比は、前回と比べて20代比率が若干増加。全体としては40代以上が6割以上を占める。

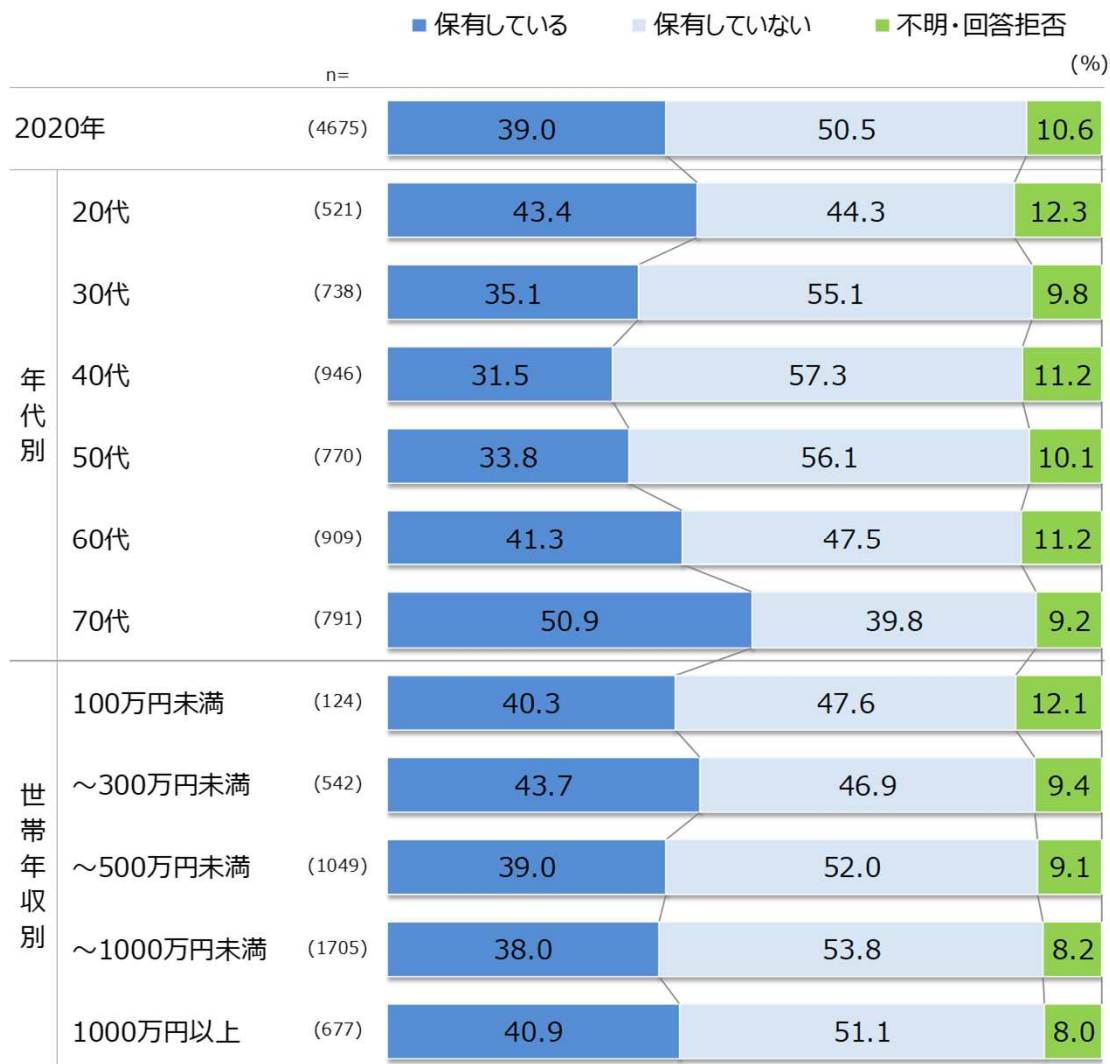
# 5. 毎月分配型投資信託についての意識（1）

## 毎月分配型投資信託の保有状況

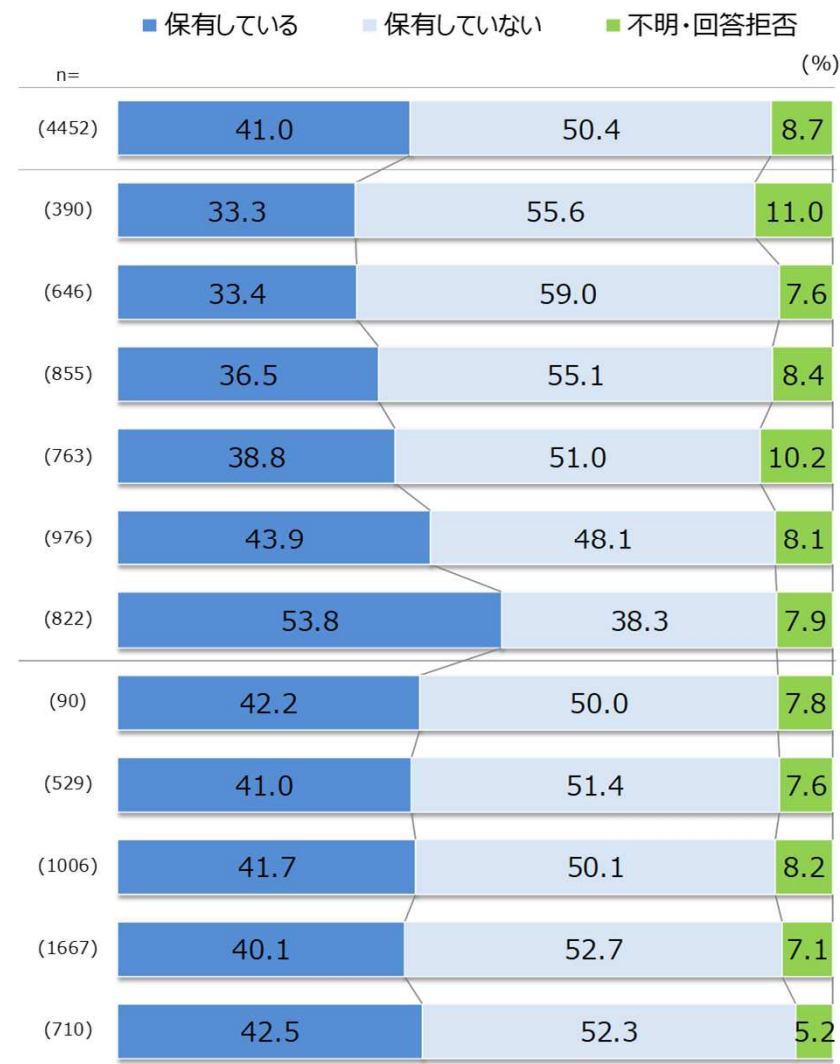
(Q20)

(投資信託現在保有者ベース)

【2020年属性別】



【2019年】



- 投資信託現在保有層での毎月分配型投資信託の保有率は、39.0%で前回と同程度。
- 年齢別では40代以上で年代が上がるにつれ保有率が増加する傾向。

# 5. 毎月分配型投資信託についての意識 (2)

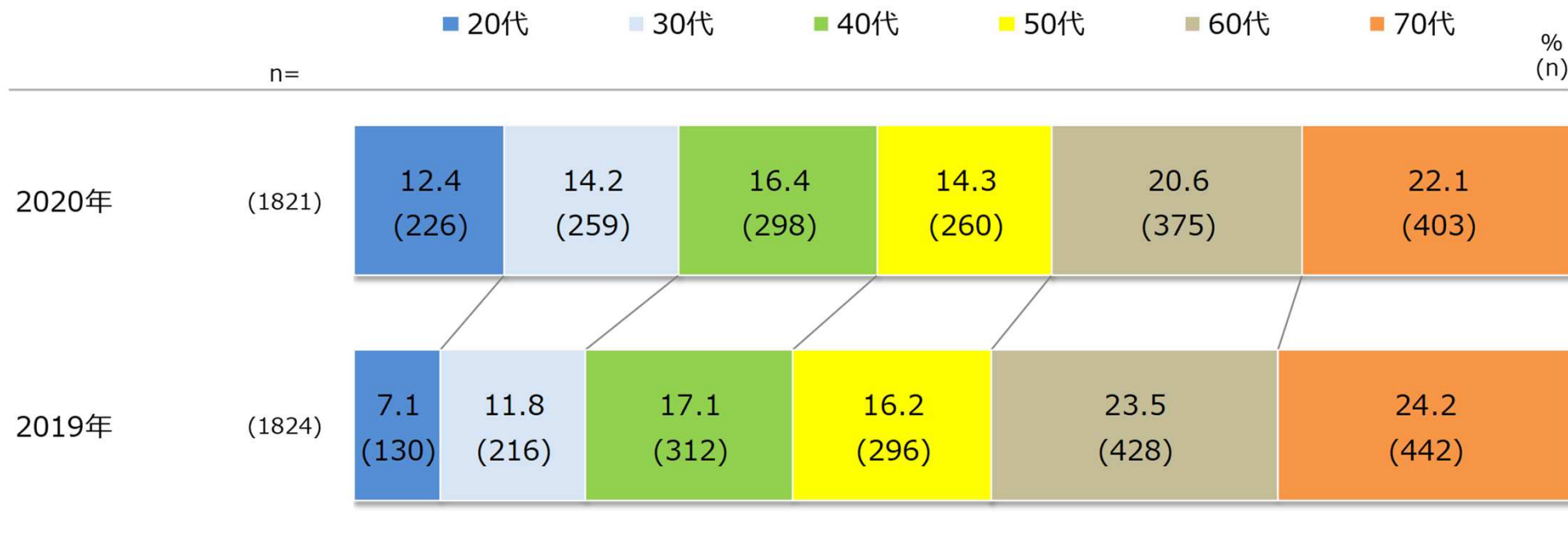


## 毎月分配型投資信託の保有状況

(Q20)

(投資信託現在保有者で毎月分配型投資利用者ベース)

【分配型投資信託保有者の年代構成比】



- 毎月分配型投信保有者の年代構成比は、前回と比べて20代比率が5.3ポイント増加し、高齢層比率が若干減少しているものの、引き続き50代以上が半数以上占める。

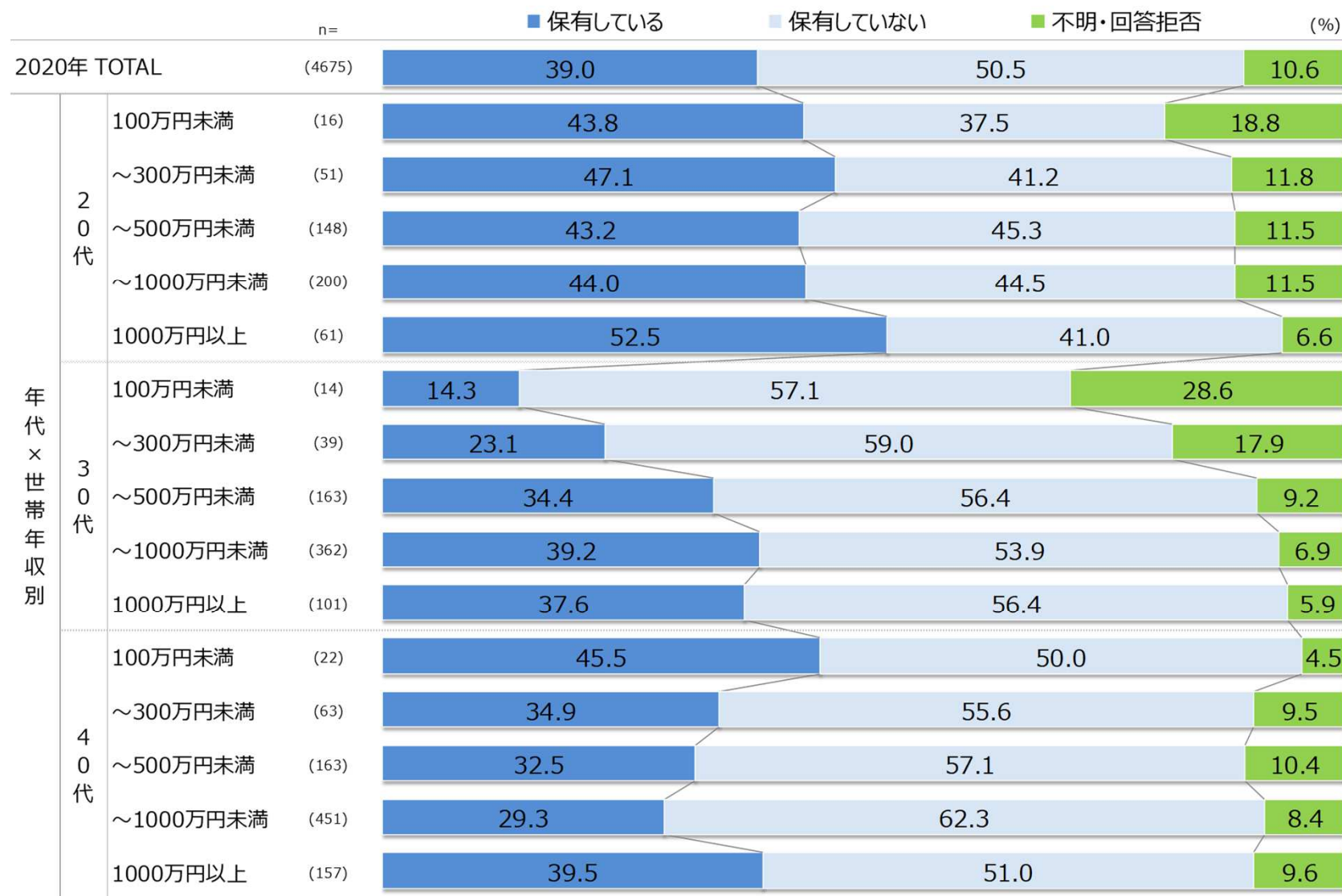
# 5. 毎月分配型投資信託についての意識 (3)



## 毎月分配型投資信託の保有状況

(Q20)

(投資信託現在保有者ベース)



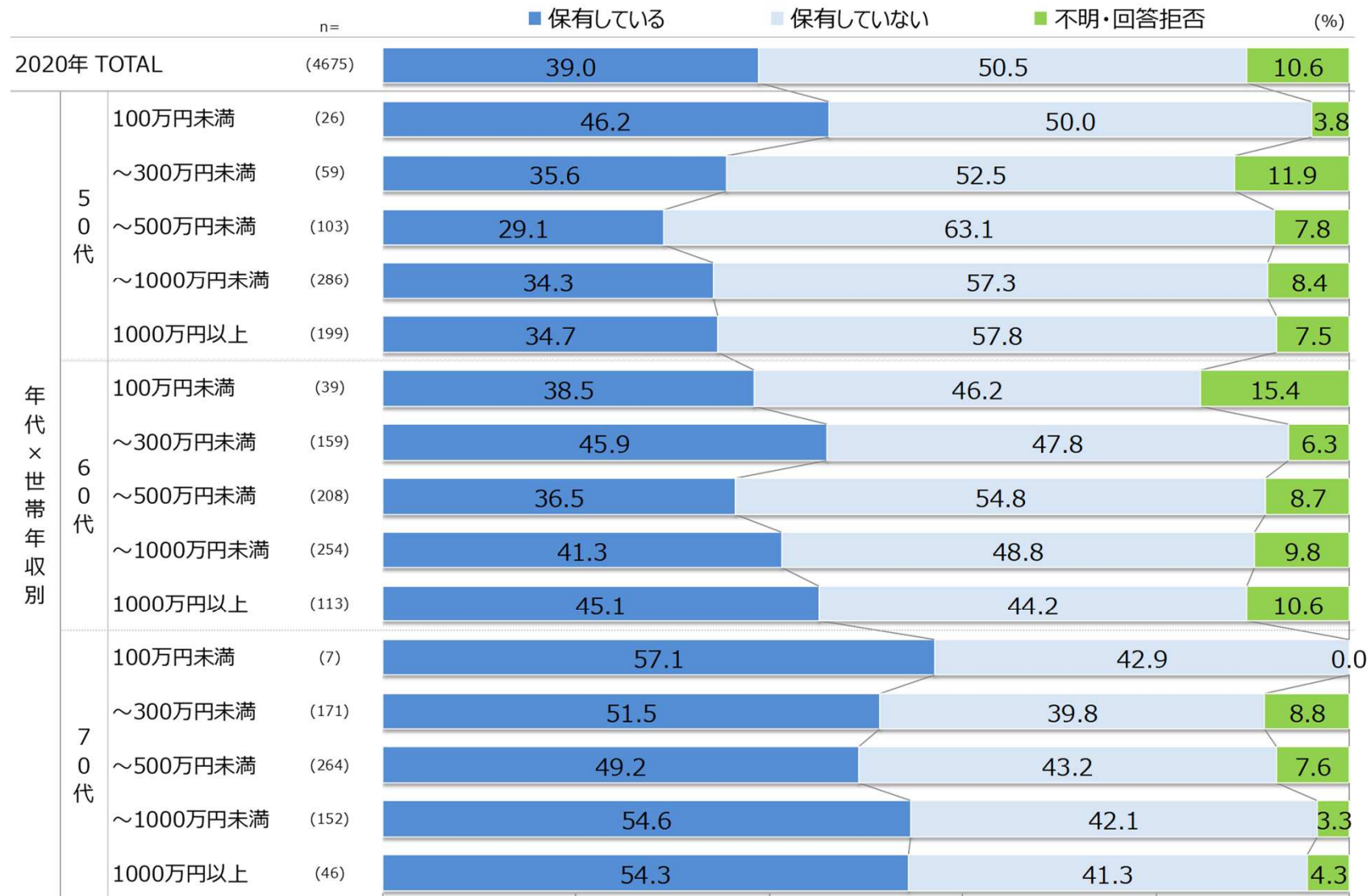


# 5. 毎月分配型投資信託についての意識 (4)

## 毎月分配型投資信託の保有状況

(Q20)

(投資信託現在保有者ベース)



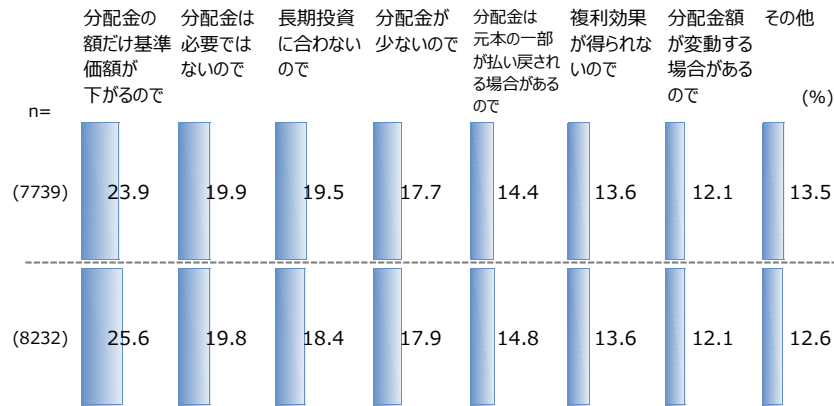
# 5. 毎月分配型投資信託についての意識 (5)



## 毎月分配型投資信託についての魅力の有無とその理由 (重複回答)

(Q21・Q22・Q23)

### 【魅力を感じない理由】

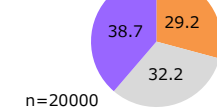


(全体ベース)

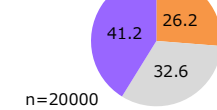
毎月分配型投資信託に…

■ 魅力を感じる ■ どちらともいえない ■ 魅力を感じない

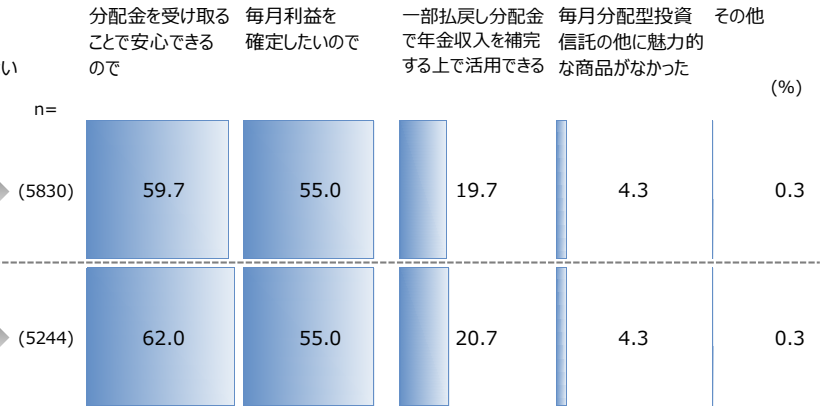
【2020年】



【2019年】



### 【魅力を感じる理由】

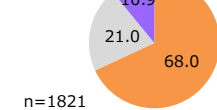


(毎月分配型投資信託現在保有者ベース)

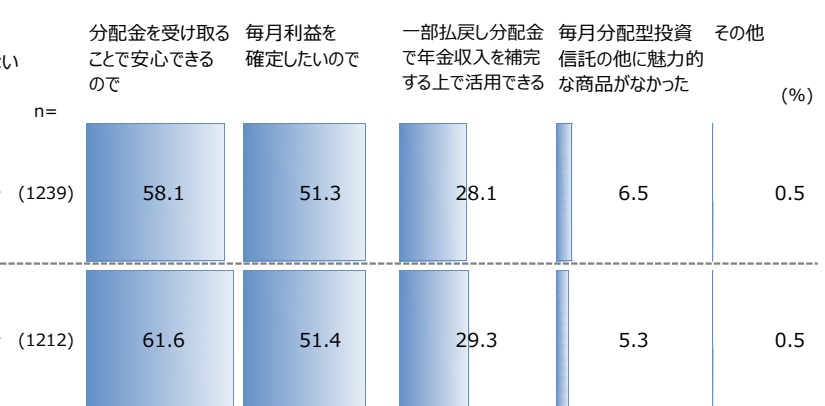
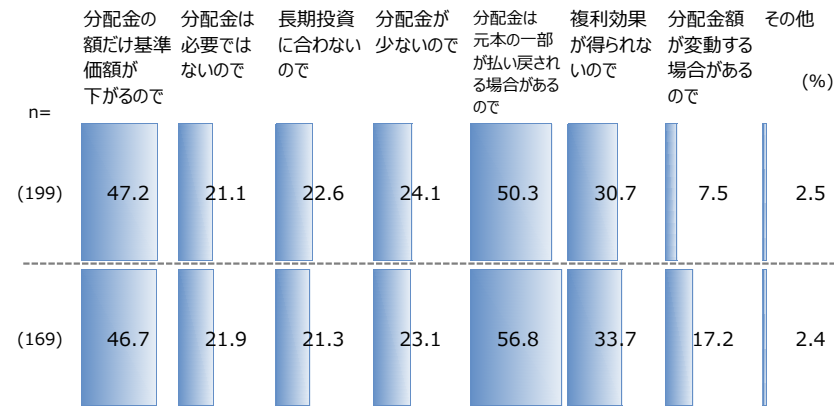
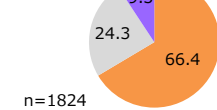
毎月分配型投資信託に…

■ 魅力を感じる ■ どちらともいえない ■ 魅力を感じない

【2020年】



【2019年】



#### <全体>

- 毎月分配型投資信託に魅力を感じる人は29.2%で、魅力を感じない人(38.7%)の方が多く。魅力を感じる人は前回よりわずかに増加。
- 非魅力理由は、「基準価額が下がる」(23.9%)が最も高く、「分配金は必要ではない」(19.9%)が続く。魅力理由は、「分配金を受け取ることで安心できる」(59.7%)、「毎月利益を確定したい」(55.0%)が上位。

#### <毎月分配型投資信託現在保有者>

- 魅力を感じる人は68.0%。非魅力理由では「元本の一部が払い戻される場合がある」(50.3%)は前回に比べて6.5ポイント減少、「分配金額が変動する場合がある」(17.2%)は9.7ポイント減少。

# 5. 毎月分配型投資信託についての意識 (6)



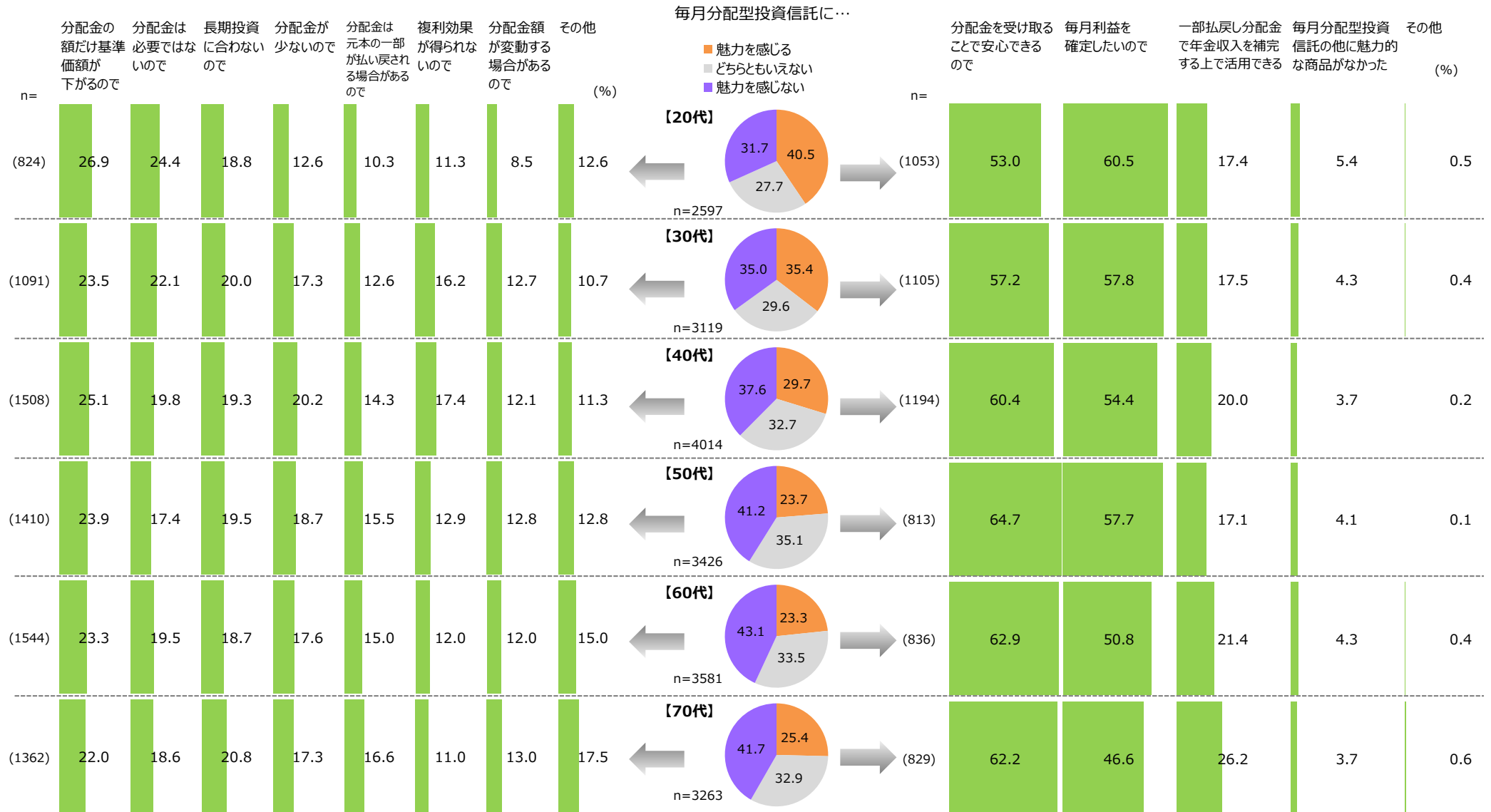
## 毎月分配型投資信託についての魅力の有無とその理由 (重複回答) 2020年

(Q21・Q22・Q23)

### 【魅力を感じない理由】

(全体ベース)

### 【魅力を感じる理由】



#### <全体ベースでの年代別>

- 魅力を感じる人は、20代で40.5%、30代で35.4%と他の年代に比べて高い。
- 非魅力理由は、20～30代は「分配金は必要ない」が、30～40代は「複利効果が得られないので」がやや高い傾向。
- 魅力理由は、若年層ほど「毎月利益を確定したい」が高い傾向。70代では「分配金で年金補完」が他の年代より高い。

# 5. 毎月分配型投資信託についての意識 (7)



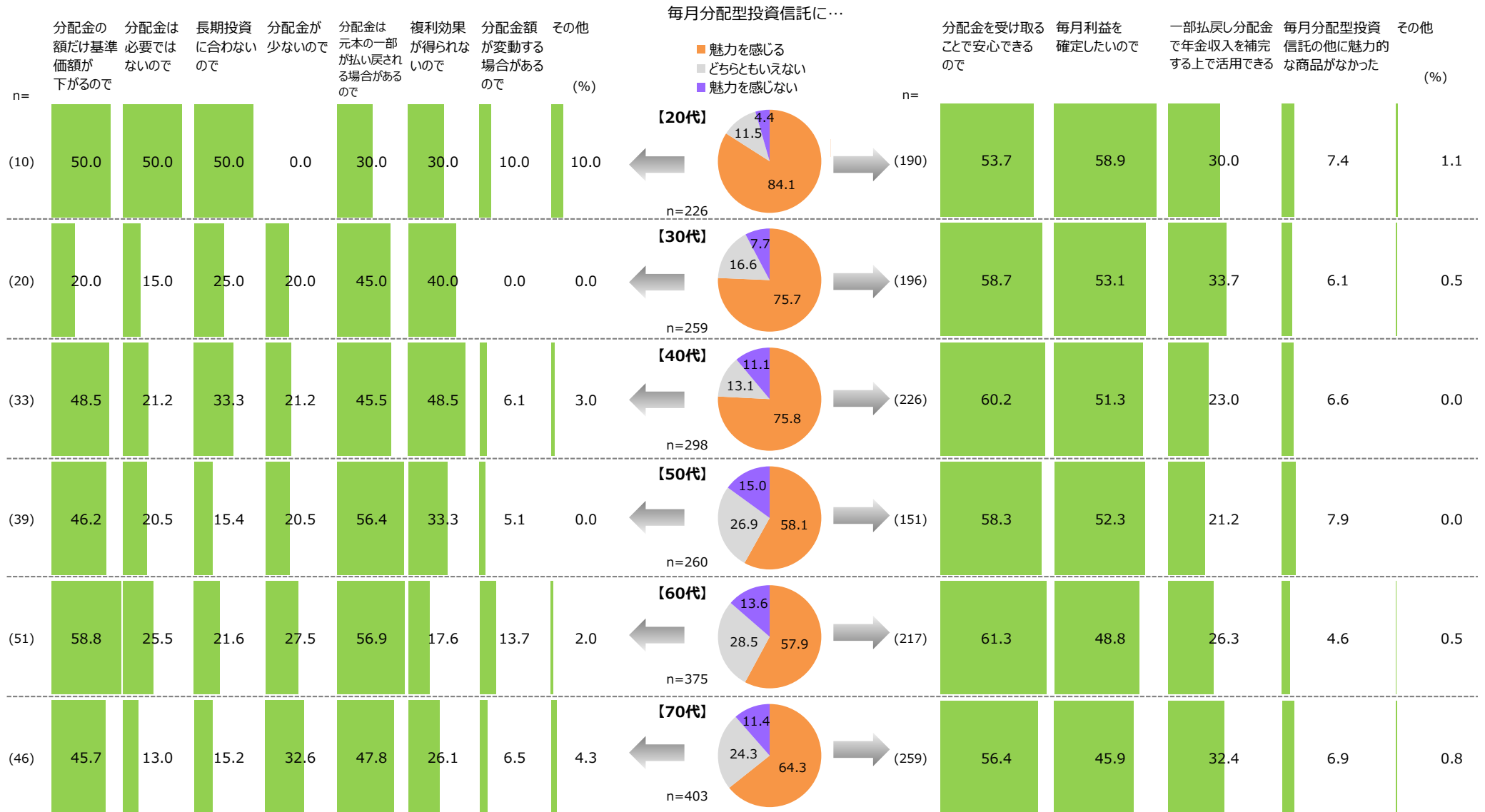
## 毎月分配型投資信託についての魅力の有無とその理由 (重複回答) 2020年

(Q21・Q22・Q23)

### 【魅力を感じない理由】

(毎月分配型投資信託現在保有者ベース)

### 【魅力を感じる理由】



<毎月分配型投資信託 現在保有者ベースでの年代別>

- 毎月分配型投資信託保有者では、40代以下で75%以上が当該商品に対して魅力を感じている。
- 魅力理由では、30～60代では「分配金を受け取ることで安心できる」が60%程度と高い。一方、「毎月利益を確定したい」は20代中心とした若年層で高い。

# 6.投資信託の非購入理由



## 投資信託の非購入理由（重複回答）

(Q26)

(投資信託保有未経験者ベース)

		投資の知識がない	興味がない	損をしそうで怖い	まとまった資金がない	投資信託のよいく	仕組みから知らない	元本保証がない	手数料が高い	機会がなかった	商品の種類が多い	選択できない	知らないかあった	購入するかの	自分でした方がよい	その他
n=																
2020年	(13374)	39.5	36.8	31.4	24.4	22.8	22.6	12.6	9.2	7.7	5.6	5.1	3.6	0.8		
2019年	(13551)	36.8	41.7	29.1	22.7	20.2	22.9	12.9	7.4	6.7	4.9	4.2	4.0	0.7		
年代別	20代	(1962)	45.0	31.4	30.8	26.5	25.3	10.8	9.0	12.9	6.4	9.5	6.7	3.5	0.8	
	30代	(2266)	44.7	30.5	33.6	25.4	25.2	15.8	11.2	11.3	7.7	6.7	6.5	3.9	0.8	
	40代	(2810)	40.1	32.7	33.6	25.4	22.2	23.0	13.0	10.1	7.1	5.8	5.4	3.0	0.5	
	50代	(2314)	40.2	37.7	33.8	25.2	23.5	28.7	15.2	7.6	8.7	5.0	5.7	2.9	0.7	
	60代	(2149)	33.0	44.6	27.5	20.6	19.7	27.3	14.1	6.5	6.8	4.0	2.7	3.2	0.8	
	70代	(1873)	33.4	45.7	27.3	22.7	20.6	29.4	12.5	6.4	9.5	2.7	2.9	6.0	1.4	

- 投資信託の非購入理由は、「投資の知識がない」(39.5%)、「興味がない」(36.8%)、「損をしそうで怖い」(31.4%)が上位。前回より「興味がない」が4.9ポイント減少。
- 年代別では、若年層ほど「投資の知識がない」「なんとなく機会がなかった」が高くなり、「興味がない」「元本保証がない」は低くなる傾向。50代以下では「損をしそうで怖い」「まとまった資金がない」が60代以上に比べてやや高い。

# 7.投資信託購入検討のきっかけ

## 購入検討のきっかけ（重複回答）

(Q27)

※「その他」には、「興味がない」「特にない」「わからない」なども含む

(投資信託保有未経験者ベース)

	n=	金融強化投資を	理解できたなら	手取り収入が増えたら	身近な人に勧められたら	貯蓄が一定額に達したら	低投資の商品が	初心者の向けセミナーなど	え、機会があつたら	金融専門知識を身につけたら	経済価値が上がるように期待したら	手数料の低い商品が	職場で確定拠出年金	等々が整備されたら	税制優遇措置がよ	拡充してき	優遇措置がよ	退職金・収入のあ	相続などであ	臨時的収入があ	その他	(%)
2020年	(13374)	22.1	20.5	20.1	17.6	16.7	13.4	12.4	11.7	11.5	10.0	8.9	5.1	9.3								
2019年	(13551)	20.1	19.7	17.4	17.0	15.8	13.3	10.9	11.7	11.8	12.4	8.9	5.1	9.4								
年代別	20代 (1962)	26.5	27.2	29.3	25.6	15.6	18.3	16.8	11.0	10.0	13.1	7.4	4.4	3.9								
	30代 (2266)	25.2	26.1	28.9	20.2	16.3	17.7	15.0	9.9	11.2	11.5	7.3	4.5	4.1								
	40代 (2810)	23.1	24.8	20.5	19.0	16.3	13.0	12.6	10.3	12.0	12.6	9.3	5.5	6.1								
	50代 (2314)	21.0	19.8	16.2	15.9	17.9	11.9	12.0	12.7	13.2	9.6	9.8	6.4	10.3								
	60代 (2149)	17.4	12.9	12.5	12.7	16.9	10.0	9.1	12.6	11.1	7.4	9.1	5.4	14.9								
	70代 (1873)	18.8	10.1	13.0	11.7	17.5	9.7	8.5	14.8	11.0	4.6	10.2	4.0	18.5								

- 投資信託購入検討のきっかけは、前回同様に全体的に分散傾向で、目立って高い項目はみられない。
- 年代別では、若年層ほど「金融や投資方法を勉強して理解したら」「手取り収入が増えたら」「身近な人に勧められたら」「貯蓄が一定額に達したら」「初心者セミナーなどがあれば」「専門知識を持つ人に教えてもらえたら」「職場で確定拠出年金・つみたてNISA等が整備されたら」が高くなる傾向。

# 8. 投資信託の興味・関心・購入のきっかけ



## 投資信託の興味・関心・購入のきっかけ（重複回答）

(Q8)

(現在保有・投資信託保有経験者ベース)

		n=	金融機関の 人に勧められて	インターネットで 見たり調べたりして	投資信託に関する 本を読んで	少額投資非課税 制度が始まったので	商品広告など を見て	経済的な余裕が ある	家族や友人など から	景況や市場の 状況	DMM証券など を見たり聞いて	新聞、雑誌など の記事を見て	講演やセミナー などに参加して	確定拠出年金で 投資信託を選んだ	この場で興味を 持つ	老後2000万円 を	受ける各種報 道	SNSからの情 報	確定拠出年金 で	良かったので 選んで	その他
2020年		(6626)	40.0	25.0	12.5	11.4	10.8	10.2	10.1	8.6	8.5	8.3	6.7	6.6	4.8	3.8	2.2	2.9			
性別	男性	(4014)	33.4	30.4	15.4	11.8	12.4	11.5	7.1	10.4	9.8	9.7	7.0	8.8	5.4	4.1	2.8	2.6			
	女性	(2612)	50.0	16.7	8.1	10.8	8.3	8.3	14.7	5.7	6.5	6.0	6.4	3.1	3.9	3.3	1.2	3.3			
年代別	20代	(635)	24.1	30.4	14.5	15.7	11.3	9.9	10.9	11.3	14.3	7.2	11.3	9.0	9.0	13.4	5.2	3.0			
	30代	(853)	23.0	40.0	21.0	16.9	11.7	11.5	12.5	11.4	10.9	8.2	7.7	10.6	8.3	9.3	4.6	1.4			
	40代	(1204)	24.5	39.0	19.0	15.4	11.3	7.3	11.0	8.6	7.9	8.2	6.4	9.0	7.4	5.1	2.4	2.6			
	50代	(1112)	36.3	26.2	11.2	9.8	12.3	8.8	8.1	7.8	7.0	9.2	5.3	8.8	4.0	1.5	2.3	2.8			
	60代	(1432)	52.1	16.7	8.7	8.9	8.8	12.5	9.4	7.5	6.6	7.3	6.4	3.8	2.4	0.3	0.9	3.4			
	70代	(1390)	61.5	9.0	5.8	6.5	10.4	10.9	9.7	7.2	8.0	9.1	5.8	2.0	1.7	0.4	0.4	3.7			
世帯年収別	100万円未満	(194)	36.6	27.8	12.4	6.7	9.3	5.2	7.2	7.7	6.2	6.7	6.2	2.6	3.1	1.0	1.5	3.6			
	～300万円未満	(846)	48.8	18.8	8.5	9.1	9.5	10.0	8.6	7.4	6.7	6.6	7.1	3.7	3.8	2.2	1.4	3.2			
	～500万円未満	(1553)	43.5	23.2	12.1	10.6	11.7	10.6	9.7	6.9	9.1	8.2	5.9	4.9	5.0	3.3	1.4	3.1			
	～1000万円未満	(2277)	33.9	29.5	14.3	12.9	11.5	10.1	10.3	9.5	9.0	9.0	7.7	8.6	5.5	4.9	2.7	2.5			
	1000万円以上	(847)	37.8	28.6	15.7	12.6	12.5	13.7	10.9	11.2	11.5	10.2	8.0	10.9	4.8	4.8	4.4	2.1			
保有状況別	保有層・ 保有経験層	現在保有層 (4675)	37.9	29.7	14.5	14.5	10.1	10.4	9.7	9.0	8.5	8.0	7.7	8.0	5.7	4.7	2.8	2.5			
	保有経験層 (現在非保有)	(1951)	45.1	13.7	7.6	4.1	12.5	9.8	11.0	7.5	8.5	9.0	4.3	3.2	2.8	1.6	0.6	3.8			
投資信託種類別	株式投資信託保有層	(3350)	36.0	34.1	17.3	16.1	11.4	10.9	10.7	10.0	9.0	9.0	8.7	9.6	5.7	5.7	3.4	2.0			
	その他投資信託保有層	(887)	45.1	20.7	9.4	11.6	7.8	8.6	6.5	6.4	9.2	6.8	6.7	5.0	4.5	2.1	1.8	2.7			

- 投資信託の興味・関心・購入のきっかけは、「金融機関の人に勧められて」(40.0%)が特に高く、「インターネットで見たり調べたりして」(25.0%)、「投資信託に関する本を読んで」(12.5%)が続く。
- 年代別では、「金融機関の人に勧められて」は50代以上で年代が上がるほど高くなる。「インターネットで見たり調べたりして」「投資信託に関する本を読んで」「少額投資非課税制度が始まったので」は40代以下で、「SNSからの情報を通じて」は20代・30代で高い傾向。
- 投資信託現在保有層は、保有経験層に比べて「インターネットで見たり調べたりして」「投資信託に関する本を読んで」「少額投資非課税制度が始まったので」などが高い。

# 9. 投資信託購入時参考情報



## 投資信託購入時参考情報（重複回答）

(Q11)

(現在保有・投資信託保有経験者ベース)

		n=	販売用資料	目論見書・運用報告書	投資信託を販売している会社のHP	金融機関の担当者の話	情報サイトにアクセスする	投資信託の会社HPを見る	その他のインターネットの情報	新聞	投資評価機関の	投資運用の本に	親友や人の話、	SNSからの情報	雑誌	セミナーなど	テレビ番組	その他	特にない
2020年		(6626)	30.4	28.8	28.7	22.4	16.2	15.2	13.8	11.5	11.0	10.4	8.0	6.2	5.3	5.1	4.8	0.5	13.8
性別	男性	(4014)	29.9	33.4	31.0	15.1	19.0	17.7	14.9	12.4	12.9	12.0	5.0	6.7	6.2	5.1	4.8	0.6	13.2
	女性	(2612)	31.1	21.8	25.1	33.7	11.9	11.5	12.1	10.2	8.2	8.1	12.6	5.5	4.1	5.2	4.9	0.4	14.8
年代別	20代	(635)	28.8	29.3	30.1	7.6	17.8	16.7	14.2	12.1	11.8	12.9	9.9	20.5	6.6	4.3	6.5	0.5	10.6
	30代	(853)	26.0	31.4	32.8	10.1	20.5	17.5	21.2	10.0	13.2	17.9	10.0	13.6	6.9	5.6	4.9	0.8	10.0
	40代	(1204)	28.3	31.7	34.0	11.9	20.7	19.0	19.9	9.1	12.5	14.0	7.6	8.1	7.6	3.8	4.4	0.4	12.6
	50代	(1112)	29.8	29.0	30.0	19.4	18.3	15.3	14.7	9.3	11.5	10.1	7.0	3.2	7.0	4.2	3.6	0.5	13.7
	60代	(1432)	35.8	26.9	25.3	32.0	13.4	12.6	10.3	12.4	10.2	6.8	7.0	1.3	3.6	5.7	5.3	0.3	15.9
	70代	(1390)	30.4	26.4	23.3	38.5	10.3	12.7	6.7	15.3	8.4	5.6	8.2	1.1	2.3	6.6	4.9	0.6	16.8
世帯年収別	100万円未満	(194)	26.3	30.9	27.8	16.0	16.0	15.5	10.8	4.6	9.8	4.1	6.7	3.1	3.1	3.6	3.6	1.0	19.6
	～300万円未満	(846)	29.9	24.5	25.2	27.5	12.4	13.0	11.9	10.4	10.6	8.9	6.6	3.0	4.6	5.7	5.3	0.2	16.8
	～500万円未満	(1553)	28.7	26.0	27.0	24.3	15.4	13.6	13.7	12.4	9.6	8.6	7.3	5.6	4.2	4.8	5.0	0.5	14.8
	～1000万円未満	(2277)	31.9	32.1	32.1	18.1	18.6	17.4	15.1	11.4	12.5	12.9	8.3	8.2	6.0	5.1	4.2	0.5	10.4
	1000万円以上	(847)	32.3	35.4	31.9	20.5	20.3	18.3	16.1	14.4	13.3	11.7	9.7	8.3	8.3	6.8	5.4	0.9	9.7
保有状況別	保有層・保有経験層	現在保有層 (4675)	30.6	31.2	30.4	22.2	17.2	15.5	15.3	10.7	12.3	11.6	7.1	7.5	5.6	5.5	5.0	0.5	11.9
	保有経験層 (現在非保有)	(1951)	29.9	23.3	24.7	22.9	14.0	14.7	10.3	13.5	7.8	7.6	10.1	3.3	4.8	4.2	4.5	0.7	18.5
現在保有種類別	株式投資信託保有層	(3350)	32.4	33.7	33.9	19.6	20.3	17.1	17.6	11.3	14.4	13.7	7.6	9.1	6.4	6.1	5.2	0.5	8.6
	その他投資信託保有層	(887)	31.3	31.0	26.2	32.0	11.5	14.5	10.5	10.7	9.7	7.7	5.7	3.3	5.0	5.2	5.0	0.3	9.9

- 購入時の参考情報は、「販売用資料」(30.4%)、「目論見書・運用報告書」(28.8%)、「投資信託を販売している会社のHP」(28.7%)が30%前後で上位。
- 年代別では、若年層はインターネット経由やSNSからの情報が高く、「金融機関の担当者の話」は高齢層ほど高い。
- 投資信託現在保有種類別では、株式投資信託保有層でインターネット経由やSNS、本などが高く、その他投資信託保有層は「金融機関の担当者の話」が高い。

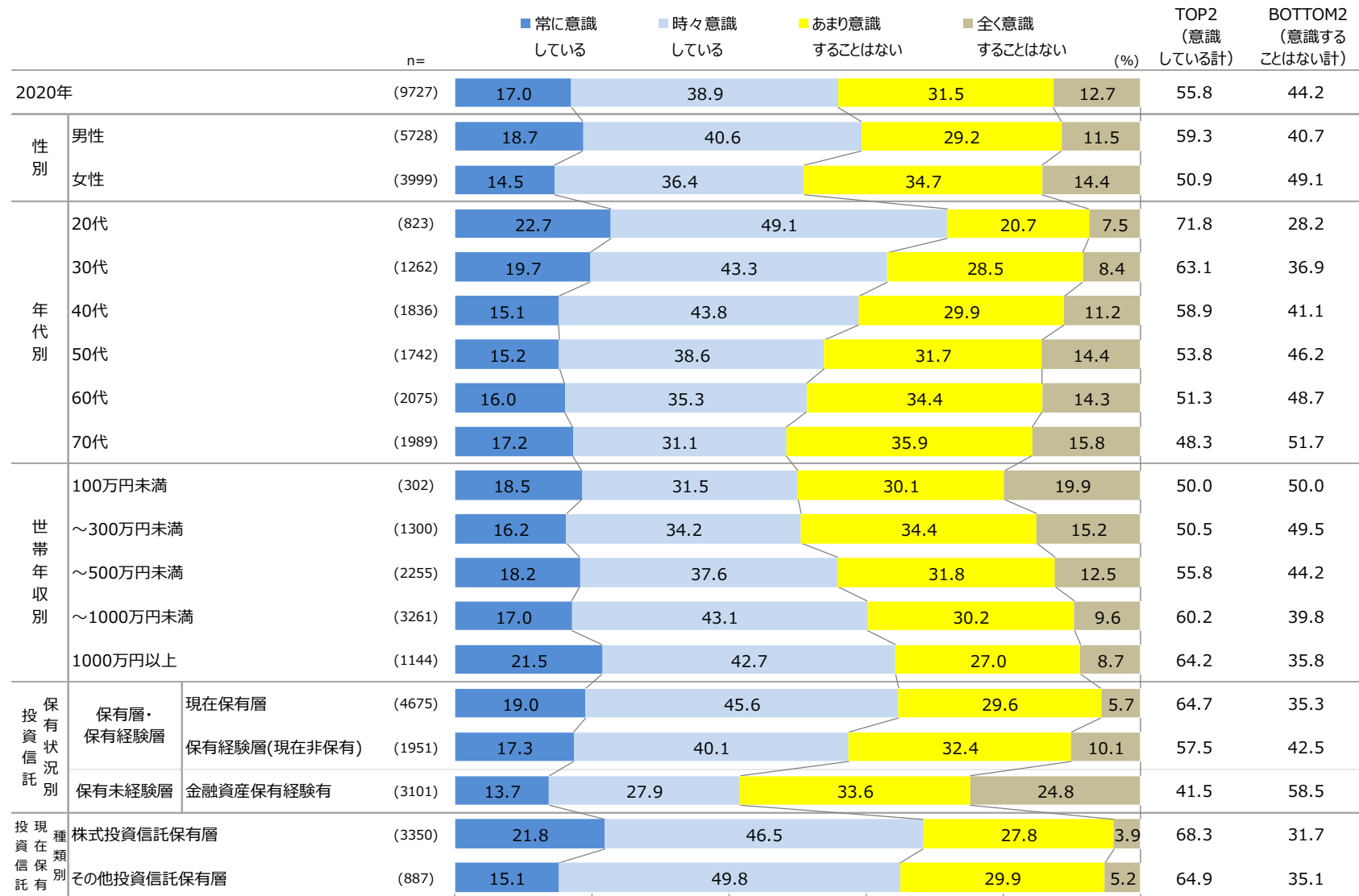


# 10.投資意識に関する状況（1）

## 書面情報の投資行動への影響に対する意識

(Q28)

(金融資産保有経験者ベース)



- 「投資においては、書類に記載されているあらゆる情報が自身の判断・選択に関わってくる」ことへの意識度合については、TOP2(意識している計)で55.8%と、半数以上が意識している。
- 年代別では、若年層ほどTOP2が高く、意識度合が高い様子。
- 投信保有状況別では、投信現在保有層でTOP2(64.7%)が高い。

# 10.投資意識に関する状況（2）

## ESG・SDGs関連投資意向（重複回答）

(Q29)

		n=	「医療・福祉の 充実」に取り組む 企業	「環境問題の 改善」に取り組む 企業	「再生エネルギーの 普及」に取り組む 企業	「貧困・飢餓問題」 に取り組む企業	「教育格差の 是正」に取り組む 企業	「ジェンダーフリー・ 女性活躍の推進」に 取り組む企業	その他	購入したいと思う ものはない	(%)	
2020年		(20000)	33.5	27.9	27.2	17.6	13.7	10.6	0.4	43.1		
性別	男性	(9950)	31.9	28.3	29.4	16.7	14.1	9.5	0.4	41.6		
	女性	(10050)	35.2	27.6	25.0	18.5	13.4	11.7	0.3	44.6		
年代別	20代	(2597)	33.8	23.7	21.2	24.0	20.9	19.8	0.2	36.5		
	30代	(3119)	34.7	25.2	23.7	21.1	17.8	14.0	0.4	38.8		
	40代	(4014)	34.3	26.3	27.2	18.1	15.4	11.1	0.2	41.1		
	50代	(3426)	33.1	27.9	27.4	16.6	11.8	8.5	0.5	46.0		
	60代	(3581)	31.3	30.7	30.2	14.0	9.0	6.7	0.4	47.3		
	70代	(3263)	34.2	32.8	31.7	13.7	9.3	6.1	0.4	47.3		
世帯 年収別	100万円未満	(835)	24.9	20.1	21.8	18.3	11.6	11.1	0.6	51.0		
	～300万円未満	(3083)	30.8	25.4	25.6	18.7	12.1	10.2	0.6	46.4		
	～500万円未満	(4427)	35.6	29.7	27.4	18.4	13.4	10.4	0.2	40.7		
	～1000万円未満	(5684)	39.7	31.8	31.8	19.1	17.5	12.1	0.1	33.9		
	1000万円以上	(1629)	37.1	35.7	34.4	18.0	16.3	13.8	0.2	33.0		
投資 信託 保有 状況別	保有層・ 保有経験層	現在保有層	(4675)	44.5	42.2	41.0	20.0	18.7	14.0	0.2	24.5	
		保有経験層 (現在非保有)	(1951)	41.0	37.1	35.1	18.2	15.0	10.6	0.3	33.4	
	保有 未経験層	金融資産 保有経験有	(3101)	33.3	29.6	29.9	17.2	13.9	9.9	0.5	43.0	
		金融資産 保有経験無	(10273)	27.2	19.2	18.6	16.6	11.2	9.3	0.4	53.5	
現在 保有 種類別	株式投資信託保有層	(3350)	46.2	43.9	41.6	21.3	19.8	14.5	0.2	21.5		
	その他投資信託保有層	(887)	46.1	43.2	45.0	18.9	19.6	14.3	0.3	22.5		

- 「持続可能な社会」の取り組みを行う企業への投資意向は、「医療・福祉の充実」に取り組む企業が33.5%で最も高く、「環境問題の改善」「再生エネルギーの普及」「貧困・飢餓問題」が続く。
- 年代別では、「医療・福祉の充実」は全ての年代で最も高い。若年層ほど「貧困・飢餓問題」「教育格差の是正」「ジェンダーフリー・女性活躍の推進」が、高齢層ほど「環境問題の改善」「再生エネルギーの普及」が高い。
- 投信保有未経験層別では、金融資産保有経験層は、金融資産保有未経験層と比べて「医療・福祉の充実」「環境問題の改善」「再生エネルギーの普及」が高い。